

高知県 学校図書館活用実践事例集



平成24年3月

高知県教育委員会

はじめに

高知県教育委員会では、平成22年度から、学校図書館活動のより一層の推進を図るために、地域の拠点校として、県内小・中学校20校に学校図書館教育推進教諭を配置し研究を推進しています。

また、目的に応じて書く力などの国語力の向上を目指して「ことばの力」育成プロジェクトを策定し、その中においても「ことばの力」を支える礎として「学校図書館活動推進事業」を位置付けています。学校図書館活動を活性化することが、本県の児童生徒に確かな学力を保証するとともに、児童生徒の心を耕し豊かな人間性の創造に資するものと考えています。

また、取組の一環として平成22年度に『高知県学校図書館活動ガイドブック』や『きっとある キミの心に ひびく本』（推薦図書リスト）を作成・配付し、各小・中学校及び特別支援学校において、ご活用いただいているところです。

この度、『きっとある キミの心に ひびく本』掲載図書や図書資料の活用例を示した『高知県学校図書館活用実践事例集』（以下『事例集』）を作成しました。

『事例集』は、学校図書館担当者だけでなく、全ての先生方に参考にしていただくことを目指し、各教科領域のねらいや付けたい力を実現するための図書資料の効果的な活用について、学校図書館活動推進校の授業実践をもとに紹介しています。一つ一つの実践に「学校図書館活用の視点」や「指導上参考となる図書資料及びその他の資料」を示しました。また、「単元の概要」や「授業の展開」の中にある指導の工夫や指導上の留意点ではできるだけ図書資料の活用を具体的にイメージできるよう構成しました。

県内小・中学校において、『事例集』を参考にいただき、学校図書館を活用した授業づくりや読書の質が向上し、児童生徒に生きる力を育むための教育の推進と更なる充実が図られることを期待しています。

最後になりましたが、『事例集』の作成に当たり、ご協力いただいた学校図書館活動推進校の先生方をはじめ、市町村教育委員会、多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成24年3月

高知県教育委員会

目 次

はじめに

目 次

学校図書館活動推進校の取組から

1 実践事例（小学校）

第2学年－国語科

「仕事をする主人公が出てくるお話を読もう」（香南市立赤岡小学校）…………… 2

第2学年－国語科

「こんなときどうするの」（土佐町立土佐町小学校）…………… 6

第2学年－国語科

「どうぶつのひみつをみんなでさがろう」（高知市立横内小学校）…………… 10

第3学年－国語科

「はたらく犬について調べよう」（安芸市立安芸第一小学校）…………… 14

第3学年－国語科

「本はともだち」（須崎市立多ノ郷小学校）…………… 18

第3学年－国語科

「広げて読もう」（高知市立追手前小学校）…………… 22

第3学年－社会科

「学校のまわり」（いの町立伊野南小学校）…………… 26

第3学年－算数科

「10000より大きい数を調べよう」（室戸市立室戸小学校）…………… 30

第4学年－理科

「わたしたちの体と運動」（宿毛市立宿毛小学校）…………… 34

第4学年－学級活動

「つながる楽しさを知ろう～やさしいことばで話そう～」（南国市立後免野田小学校）…………… 38

第5学年－国語科

「宮沢 賢治の世界を紹いします！～作品を紹かいするブックカバーを作ろう～」
（土佐市立高岡第一小学校）…………… 42

第5学年－道徳

「主題 寛容 2－(4)」（香美市立山田小学校）…………… 46

2 実践事例（中学校）

第1学年－国語科（選択）

「調べ学習の基礎・基本」（高知市立城東中学校）…………… 52

第1学年－国語科

「読書を楽しもう」（土佐清水市立清水中学校）…………… 56

第1学年－社会科

「文明のおこりと日本の成り立ち」（いの町立伊野中学校）…………… 60

第1学年－社会科

「人類の出現と古代文明」（黒潮町立大方中学校）…………… 64

第1学年－美術科

「物語のイメージを切り絵で表現する」（佐川町立佐川中学校）…………… 68

第1学年－英語科

「Unit 2」（香南市立赤岡中学校）…………… 72

第2学年－総合的な学習の時間

「自分の大切にしたい生き方を考えよう」（高知市立潮江中学校）…………… 76

第3学年－理科

「細胞と生物の殖え方」（南国市立香長中学校）…………… 80

平成23年度学校図書館活動推進校一覧…………… 84

学校図書館活動推進校 の取組から

読書センター

～豊かな心を育む学校図書館～



土佐町立土佐町小学校では

- 小中一貫教育を進めており、学校図書館を大改造し、小・中学生が共有活用できるものとしている。環境整備には、地域の応援も大きく生涯学習の視点を持ち、連携も進めている。

南国市立後免野田小学校では

- 学校図書館の環境整備を充実させている。テーマは、食育とアンパンマン（やなせたかしさんの母校のため）であり、親しみやすい空間となっている。児童による近隣幼稚園への読み聞かせを継続して実施している。

香美市立山田小学校では

- 県東部の草分け的な存在であり、全校読書まつりなど読書指導の伝統的な取組が充実している。

須崎市立多ノ郷小学校では

- 絵本から読み物への移行を促す指導や、読書意欲を高める指導がなされており、朝早い時間帯や昼休みにも、学校図書館が多くの児童に利用されている。



土佐市立高岡第一小学校では

- 図書の貸出冊数を増やす工夫ができており、年々一人当たりの貸出冊数が伸びている。読書感想文、読書感想画等のコンクールに全校で取り組み、入賞することで児童の読書意欲が高まっている。

土佐清水市立清水中学校では

- 市民図書館と連携して、プロによる読み聞かせ等の図書館講座が催され、地域と連携した取組がなされている。

香南市立赤岡中学校では

- 昼休みには学校図書館やその周りに全校の3分の2にあたる生徒が集まっている。生徒による小学生への読み聞かせの取組から、生徒の読書意欲の変容が見られるなど成果を挙げている。



高知市立城東中学校では

- 学校図書館の業務や図書委員会の活動など日常的な学校図書館を機能させる取組について情報提供ができています。

学習・情報センター

～生きる力を育む学校図書館～

室戸市立室戸小学校では

- 算数科の研究を進める中で「きっとあるキミの心に ひびく本」掲載図書を導入で活用するなど授業活用を進めている。



安芸市立安芸第一小学校では

- 学校図書館や図書資料を活用する授業に取り組み、国語科での調べ学習に力点をおいた授業に取り組んでいる。

いの町立伊野南小学校では

- 図書資料とデジタル教材とを関連させ、図書とICTの効果的な活用の研究を推進している。

宿毛市立宿毛小学校では

- 理科や社会科等で図書活用と効果的な公共図書館との連携がなされ、市内の学校や地域などへの啓発もできている。

香南市立赤岡小学校では

- 全校で「調べ学習」に取り組み、1～6年生までの系統性を考え、指導計画やワークシートを作成し、活用している。

高知市立追手前小学校では

- 学校図書館の伝統校であり、情報活用能力の視点を持ち、全教職員が学校図書館や図書をあらゆる教科・領域で活用している。

高知市立横内小学校で

- 全校あげて学校図書館活動を進めており、環境整備面からも「横内小学校＝学校図書館」というイメージを持つことができる。調べ学習や学び方指導に積極的に取り組んでいる。

いの町立伊野中学校では

- 図書活用の授業を進めている。保健体育科の授業では、図書資料や地図資料を活用して、思考を深めさせるなどの工夫をしている。

高知市立潮江中学校では

- 防災教育を研究の柱にし、図書資料「稲むらの火」の活用に取り組んだ。学校図書館の環境整備を全教職員で実施し、各教科における図書資料の活用を目指している。

黒潮町立大方中学校では

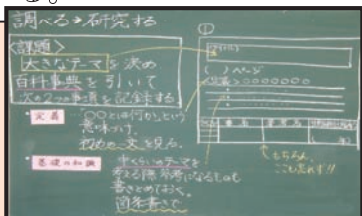
- 学校図書館とは別に「調べ学習室」を設け取り組んでいる。各教科での活用を目指しており、生徒の読書好きも多くなっている。

佐川町立佐川中学校では

- 各教科と学校図書館とのコラボ授業を実施している。読書感想画コンクールへの取組と美術科のねらいをリンクさせた授業を実施し、入賞者も多く出している。

南国市立香長中学校では

- 理科、社会科、国語科等の教科の授業で利活用できる図書リストの作成と授業での図書資料の効果的な活用を進めている。



1 实践事例

(小学校)

第2学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 相馬 光子（香南市立赤岡小学校）

～学校図書館活用の視点～

絵本の読み聞かせでは、「つぎはだれが来るかな?」「どの髪型がいいと思う?」などのやりとりをしたり、絵を描かせたりしながら、お話の楽しさを味わわせる。

仕事をする主人公が出てくるお話を公立図書館からも借りておき、他の本も読もうとする興味・関心、意欲をもたせる。

1 単元名 「仕事をする主人公が出てくるお話を読もう」

2 単元について

子どもたちは読み聞かせが大好きである。2年生の児童も、入学して以来、朝の読書や図書の間、親子読書などで読み聞かせを楽しんできた。子どもたちに読み聞かせをした絵本は、すぐに借り出されることから、一度読んでもらった本でも、出会いを楽しみながら何度も味わっている様子が見られる。

本教材『バルバルさん』は、床屋のバルバルさんの店につぎつぎと動物たちがやってきて、お似合いの髪型にしてもらい、満足して帰るといった話である。人間のお客さんだけでなく、動物がやってくるという意外性や子どもたちの大好きな動物が出てくることから、興味をもって読み聞かせを聞くことができると思われる。また、「動物の登場」、「バルバルさんの作業」、「仕上がり」というように、同じパターンの繰り返しで場面が展開していくので、話の流れが分かりやすい。子どもたちは、「つぎはどんな動物がやってくるだろう」「どんな髪型になるだろう」と想像しながらお話を楽しむことであろう。更に、最後の場面は別の動物がやってきた挿絵で、続きに期待をもたせたり、子どもたちの想像の世界を広げたりできるような結末になっている。

指導に当たっては、場面ごとにどんな動物が来て、どんな髪型になったかを予想させながら読み進めたり、最後にやってきた馬がどんな髪型になったかを想像させて絵に描かせたりして物語の世界を楽しませたい。また、仕事をする主人公が出てくる話を図書館で見付けさせ、読んで紹介し合うことで、子どもたちの読書生活に広がりをもたせたい。

3 単元の目標

- (1) 『バルバルさん』のお話を、想像を広げながら楽しむ。
- (2) 仕事をする主人公が出てくるお話を読む。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・物語に描かれている世界に浸りながら、お気に入りの場面などを見つけて、登場人物の行動や場面展開について想像を広げながら読もうとしている。	・文章の内容と自分の知識や経験、読書体験などと結び付けながら理由を挙げて、好きなところや楽しいところを発表し合っている。	・第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○「バルバルさん」のお話を想像を広げながら聞く。	○馬の髪型を考えて絵に描かせ、お話の世界を楽しませる。
2 ・ 3	○仕事をする主人公が出てくるお話を紹介し合う。	○自分が読んだ本や図書館で見つけた本の中から、仕事をする主人公が出てくる本を紹介させる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [1 / 3 時間目]

『バルバルさん』の読み聞かせを楽しみながら聞き、絵や手紙に表現する。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読 む 能 力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 仕事をする主人公が出てくるお話の読み聞かせを聞いて、音読の楽しさに気付いたり、絵や手紙を書くことで自分の思いを表現したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1 自分の家族の仕事について、知っていることを話す。	<ul style="list-style-type: none"> 家族がどんな仕事をしているか、どんなふうにいるかを話させることで仕事をしている人に興味をもたせる。
展 開	2 『バルバルさん』の読み聞かせを聞く。 3 バルバルさんの仕事の様子を思い出す。 4 どんなお客さんが、どんな髪型にしてもらったかを思い出す。 ・ライオン・わに・ひつじ・ねずみ(りす) 5 馬に似合う髪型を考えて、絵に描き、紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の絵からバルバルさんの仕事を想像させる。 バルバルさんが毎日楽しく働いていることをおさえさせる。 来店したときと帰るときの絵を掲示し、バルバルさんの仕事ぶりのすばらしさに気付かせる。 自分も床屋さんになったつもりで髪型を考えるように助言する。
結 末	6 バルバルさんに手紙を書く。 7 仕事をがんばっている主人公が出てくるお話を読んでいくことを知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> バルバルさんの仕事ぶりについて思い出させる。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 本時の直前に人権学習で家族の仕事について学習していたため、導入でそのことを思い出させることができよかった。今後も他教科、領域とのつながりも考えながら授業を構成していきたい。
- 児童はお話の世界を想像しながら読み聞かせを楽しむことができた。
- 他の本への積極的な読み広げを期待していたが、何度も声をかけないと読もうとしない児童がいた。教職員全体で、授業時間の中で読書をする機会を設けたり、子どもたちが読んでいる本をちょっとした時間に紹介したり、先生方のお薦めの本を紹介したりすることなども提案し、学校全体で組織的に、読書への関心・意欲や自分で読書をする力を高めていけるように工夫したい。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『バルバルさん』 (福音館書店)
 - 『歯医者チュー先生』 (評論社)
 - 『じごくのラーメンや』 (教育画劇)
 - 『いねむりくつや』 (岩崎書店)
 - 『ポロくんのせんたく屋さん』 (すずき出版)
 - 『ぎょうれつのできるはちみつやさん』 (教育画劇)
 - 『ゆうびんでーす!』 (ひさかたチャイルド)
- ※★印の本は、「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

バルバルさんへ											
○バルバルさんに手紙を書こう。											
名前()											

授業の様子



図書館は
オープンスペース
となっています



第2学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 仁井田 八千代 (T1) 今井 さゆり (T2) (土佐町立土佐町小学校)

～学校図書館活用の視点～

これまで図書館の本を利用して生活科や国語科で調べ学習を行ってきた。分からないことがあると図鑑で調べたり、人に聞いたりして問題解決するようにしてきた。また、「きっとある キミの心に ひびく本」のいろいろな本に親しみ、読書を楽しんできている。

本題材では、絵本を読み聞かせていく中で防災についての知識を増やしていきたい。いつ起こるか分からない地震に対して、自分の命は自分で守るという防災意識をもたせたい。また、地震に関する本を紹介することによりもっと知りたいという関心をもてるようにしたい。

1 単元名 「こんなときどうするの」

2 単元について

昨年3月11日に起こった東日本大震災は今も児童の心に残っている。児童は、学校の防災訓練で地震の時の避難について何度か練習してきた。いつ・どこで地震に遭うかは分からない。どんな場面でも自分の命は自分で守れるように、地震の絵本を読み聞かせ、話し合う中で防災意識をもたせたい。そして、知識を得るために、様々な本や文章を読もうとする能力を身に付けさせることにつなげていきたい。

3 単元の目標

- (1) 防災の知識を得るために興味をもって本を読む。
- (2) 読んだ本について感想を紹介する。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・防災について関心をもち、情報を得るために本や文章を選んで読もうとしている。	・本や文章を読み、文章の内容と自分の経験などを結び付けて感想をもったり、より多くの知識を得るために様々な本や文章を読むなどのめあてや見通しをもったりしている。	・該当学年の漢字を読んでいる。

5 単元の概要

時	学習内容	指導の工夫
1	○地震に関係する本を知る。	○絵本から気付いたことや分かったことを発表させ、自分の命を守る方法を考えさせる。
2	○地震に関する本を読み、防災の知識を得る。	○図書館にある地震に関する本を読み、気付いたことや分かったことを紹介し合う。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [1 / 2 時間目]

絵本を読むことで、いつ地震が起きても対応できるような避難の仕方を知ることができることを知る。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・防災について関心を持ち、本を読んで互いの思いや感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとしている。	・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。	・該当学年の漢字を読んでいる。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 2011・3・11のことについて知っていることを発表する。 地震から自分の命を守ろう！	・東日本大震災のことを思い出させる。 ・南海地震が近い将来起こる確立が高いことを知らせる。
展 開	2 「じしんのえほん」の読み聞かせを聞き、地震の対応の仕方について考え、発表する。 ・下校中 ・家 ・学校 ・公園 ・コンビニ ・海 3 リストブックの中の地震に関する本のブックトークを聞く。	・津波については、どうすればいいかペアで考えさせる。 ・ブックトークをして地震のメカニズムや対処方法について関心をもたせ、本への関心を高める。
終 末	4 学習を振り返り、まとめをする。	・今日の学習のことを家族で話し合い、避難場所や集合場所を決めておくことも大切であることを伝える。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

○防災について、本・テレビ・新聞から情報を得ていることが、児童の発表から分かった。

○今までの防災訓練のことを本の話と結び付けて自分の言葉で発表できていた。

●防災についての学習となると、1・2年生なら特別活動として取り扱ったほうがよかったのではないか。

●本を読んで、気付いたこと・分かったことをミニ新聞にまとめ掲示すると、児童の学習を価値付けるとともに他学年の指導の参考にもなるのではないか。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『じしんのえほん～こんなときどうするの～』 (ポプラ社)
 - ★『ぼくの街に地震がきた』 (ポプラ社)
 - ★『恐ろしい自然現象 地震の大研究 起こるしくみからそなえまで』 (PHP研究所)
 - ★『TSUNAMIをこえて スマトラ沖地震とアチェの人びと』 (ポプラ社)
 - ★『津波から人びとを救った稲むらの火』 (文溪堂)
 - 『地震のサバイバル』 (朝日新聞出版)
 - 『大地震サバイバル』 (学研教育出版)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。



土佐町小学校の学校図書館

※土佐町小学校では、昨年度全教職員で学校図書館を大改造しました。地域の方のご協力もあり、明るく心地よい空間となっています。

ビフォー



アフター



第2学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 橋詰 紀子（高知市立横内小学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで図書館の本を活用して生活科や国語科で調べ学習を行ってきた。1年生では「のりもののことをしらべよう」で簡単なテーマの決め方、仲間分け（分類）、本の成り立ち、目次、索引を学習した。調べる観点やテーマを、指導者が設定することで、児童が図書を活用する手立てを講じてきた。

本単元では、テーマの決め方や、そのテーマについての調べ方を学習させていく。「図書の活用」「人に聞く」「実際に観察する」ことから、報告書に書き、伝えるということを身に付けさせていきたい。

1 単元名 「どうぶつのひみつをみんなでさぐろう」

2 単元について

本単元は、ビーバーの巣づくりを例として挙げ、ビーバーの体の特徴やダムづくりについて、大事な言葉や事柄の順序に気を付けて正しく読み取ることをねらう説明文である。

写真や挿絵と本文を結び付けながら読み進め、大事な言葉や文章を書き抜き、順序に気を付けて正しく読み取るとともに、他の動物についても知りたいという意欲を持ち、本で読んだことをクイズにして、分かりやすく伝える活動をさせたいと考える。

この時期の児童は、科学的な読み物に対する関心を高めている。教材文を読んだり、クイズを作ったりする過程でたくさんの本を読むことで多くの情報を得、知的好奇心を満たすことができる。多くの情報を集め、選択する力の基礎を養うことを目指し、本単元を設定した。

3 単元の目標

- (1) 興味をもった動物について関心をもって調べ、進んで学習に取り組む。
- (2) テーマを決めて調べたことを報告書にして伝え合う。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">興味をもった動物に関する情報を得たり、伝えたいことを紹介したりするために、本を選んで、楽しんで読もうとしている。動物について分かったことなどを知らせたいという思いを膨らませ、調べたことを報告する文章を書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none">順序に気を付けて読んでいる。文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。	<ul style="list-style-type: none">紹介したいことの中から、一番紹介したいことを、箇条書きなどの形でメモしたり、報告書の形で書いたりしている。友達が書いた報告書を読み合って、感想を伝え合っている。	<ul style="list-style-type: none">主語と述語の照応関係に注意して文や文章を読んだり、書いたりしている。

5 単元の概要

時	学習内容	指導の工夫
1	○学習の見通しをもつ。	○興味のある動物について本で調べ、分かったことを発表するという学習内容を知り、学習の見通しをもたせる。教材文を通読し、初発の感想を話し合わせる。
2 } 6	○大工事を行うビーバーの様子を読み取る。	○書かれている事柄の順序に気を付けて、ビーバーがダムや巣を作る様子を読み取らせる。
7 } 14	○動物について調べ、「動物のひみつクイズ」づくりをする。	○興味のある動物について書かれた本を探し、検索させる。本で調べた「どうぶつのひみつ」について、みんなに伝えたいことを整理して、発表メモを作らせる。メモをもとに発表の練習をさせる。
15 } 17	○「どうぶつのひみつ」発表会を開き、学習を振り返る。	○「どうぶつのひみつ」発表会を開き、各自が調べた「どうぶつのひみつ」を発表させる。成果を交流して学習を振り返らせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [8/17時間目]

- ・「報告」の意味とテーマの決め方を理解する。
- ・テーマを決める。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・分かったことなどを知らせたいという思いを膨らませ、興味をもった動物についてのテーマを決めようとしている。	・テーマの決め方について説明した紙芝居を読み、知識を得るために本を読むなどの見通しをもっている。	・主語と述語の照応関係に注意して文や文章を読んだり、書いたりしている。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 自分が興味をもった動物を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">どうぶつのひみつをしらべよう！</div>	・興味をもった動物について、学校図書館や図書資料を活用しながら調べる学習をすることを伝える。
展開	2 調べる方法について考え、ワークシートにまとめる。	・「報告」というのは、「分からないこと、なぞだ！」と思うことを「調べたり、考えたり」して「答え」を見付け、まとめたものである。その内容を「知らせる」ということを伝える。
	3 自分のテーマを決め、発表する。	・「テーマ」とは、分からないこと、調べたいことで、「なぞ」と同じであることを知らせる。 ・紙芝居『テーマのきめかた』（赤木かんこ文）を読んだ後、確認し、ワークシートに自分のテーマを記入させる。
終末	4 本時を振り返り、まとめをする。 5 次時の予告	・自分が調べたことをまとめた報告書の書き方を学習することを伝える。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 調べさせ方の基礎である「テーマの決め方」を学ばせることができ、今後の調べ学習につなげることができた。
- 調べたい動物について考え、決めることができ、次時の本を使って調べる学習に期待や関心をもたすことができた。
- 小・中学校9年間を見通し、学校全体で調べ学習の仕方を系統的に積み上げて指導していくことが課題であり、今後も年間計画等の見直しや充実をしていきたい。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- 紙芝居「テーマのきめかた」 (埼玉福祉会)
 - ★『のいち動物公園のなかまたち』 (高知県立のいち動物公園 文・写真 高知新聞社)
 - ★『へび大図鑑』 (緑書房)
 - ★『世界鳥類大図鑑』 (ネコ・パブリッシング)
 - ★『羽 原寸大写真図鑑』 (文一総合出版)
 - ★『世界動物大図鑑』 (ネコ・パブリッシング)
 - ★『地球動物図鑑』 (新樹社)
 - 『キリン』 (CCRE株式会社)
 - 『カンガルー』 (CCRE株式会社)
 - 『愛媛県立とべ動物園ガイドブック』 (愛媛新聞社)
 - 『生き物の飼育』 (世界文化社)
 - 『どうぶつ』 (MIKIHOUSE)
 - 『みんなのかお』 (福音館書店)
 - 『日本の哺乳類』 (学習研究社)
 - 『ほんとのおおきさ動物園』 (学習研究社)
 - 『NHKダーウィンが来た！生きもの新伝説大自然ふしぎ図鑑 陸の生きもの新伝説1』 (金の星社)
 - 『NHKダーウィンが来た！生きもの新伝説大自然ふしぎ図鑑 陸の生きもの新伝説2』 (金の星社)
 - 『動物と友だちになろう』 (国土社)
 - 『しっぽのはたらき』 (福音館書店)
 - 『日本全国動物に会いに行こう！』 (昭文社)
 - 『どうぶつのあしがたずかん』 (岩崎書店)
 - 『どうぶつえんガイド』 (福音館書店)
 - 『動物の「跡」図鑑』 (文溪堂)
 - 『動物の寿命』 (素朴社)
 - 『動物小鳥のかいかたそだてかた』 (岩崎書店)
 - 『ハムスター シマリス』 (ポプラ社)
 - 『生きもののお宅拝見！』 (保育社)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本（小学生版）」に掲載しています。

のいち動物公園のどうぶつをしらべよう！

2年 組 名前

1. はんでテーマをきめよう。

1番目のキーワード

2番目のキーワード

3番目のキーワード

ミステリーカード

2. 文にしてみよう。(自分のテーマ)

3. はんの人のテーマを3番目のキーワードから書こう。

名 前	テ ィ マ

第3学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 鍵山 真一（安芸市立安芸第一小学校）

～学校図書館活用の視点～

児童は、これまでも図書館の本を活用して国語科や理科等で調べ学習を経験してきた。調べるテーマについては指導者側で設定したり、児童の自然な欲求、思いや考えを取り入れたりしてきた。

本単元では、盲導犬以外にも人や社会のために働く動物（犬）について調べ学習を進めていく。知りたいと思う事を探して選び、調べた事を整理して文章に書く力を身に付けさせたい。

1 単元名 「はたらく犬について調べよう」

2 単元について

11月初旬、国語科で「もうどう犬の訓練」（説明文）を学習した。児童にとって身近で親しみのある動物である犬を、ペットとは異なる「はたらく犬」として取り上げ、一人前の盲導犬になるための厳しい訓練の様子を紹介したものである。子どもたちは、文章を読み、大事な言葉や文を見付け、書いてある内容を短くまとめていく中で、「はたらく犬」について関心をもつようになった。

そこで、様々な図書資料を活用することにより、盲導犬以外にも「はたらく犬」が活躍している場がある事を知り、更に興味・関心を広げ、自ら学ぶ力を付けるとともに、調べたことなどが伝わるように、工夫しながら書こうとする態度を育てることをねらって、本単元を設定することとした。

3 単元の目標

- (1) 人と社会のために「はたらく犬」について、もっと詳しく知りたいと思った事を発表し、具体的に何を調べるかを決める。
- (2) 知りたい事柄について、資料を読んで調べ、分かったことを整理し「はたらく犬もの知りカード」にして、みんなで読み合う。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・「はたらく犬」について進んでいるいろいろな本や資料を調べ、分かったことを、整理して書こうとしている。	・「はたらく犬もの知りカード」を書くという目的に応じて、調べたことが読み手にも伝わるように大事な言葉や文を使いながら、分かりやすく書き換えたり言葉を補ったりして、短くまとめて書いている。 ・書いたものを発表し合い、書き手のまとめ方等について、意見をのべている。	・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べている。 ・当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文章の中で使っている。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○様々な仕事をする犬がいることを知り、調べる。	○公立図書館等から借りるなどして「はたらく犬」に関する多くの図書資料を用意して活用させる。 ○掲示物を工夫して興味をもたせる。
2	○本に書かれていることを読み取り、大事と思うことを書き出す。	○ワークシートに書いたことを元にして、カードに分かりやすく書き換えたり、言葉を補ったりして、短くまとめることができるようにさせる。
3	○調べたことを発表する。	○書いたものを発表し合い、書き手のまとめかたなどについて意見を述べ合うことができるようにする。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [1 / 3 時間目]

さまざまな仕事で活躍している犬について、もっと知りたい事を調べることができる。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書 く 能 力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 「はたらく犬」について調べたいことを決め、調べるための図書資料を意欲的に選び、大事な言葉などを見付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料から、知りたかったことや説明するために効果的なものを選び、資料作成のために大事な言葉や文を書き出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文章の中で使っている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1 盲導犬について知っていることを話す。	<ul style="list-style-type: none"> 既習の「もうどう犬の訓練」から本時の学習への関心を高める。
	2 盲導犬の他にも働いている犬がいることを知っていれば発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事で活躍している犬を紹介し確認させる。
	3 「はたらく犬」の名前と知りたいと思うことを書き発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 各自、何を調べるかを意識させる。
展 開	「はたらく犬」について調べよう。	
	4 「はたらく犬」の仕事別に分かれて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 仕事別に分かれ作業をさせる。 知りたいことが同じ場合、一緒に取組をさせ内容を深めていくようにする。
	5 分かったことをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> 大事な言葉や文を書き出させる。 書く内容に困っている児童には助言をする。

終 末	6 今後の調べる内容や計画を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる過程で、より詳しく調べたり、内容に広がりをもたせたりする工夫を考えさせる。 ・「はたらく犬もの知りカード」に内容を要約したり、言語を補ったりして書くことを知らせる。
	7 次時の活動を知る。	

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 「自分が調べたい犬や知りたいことを学習できる図書資料を探し、まとめる」という学習のために、多くの図書資料を提示できたので、児童は意欲をもって調べることができた。
- 調べたことを発表していく中で、友達の文章のまとめ方のよさに気付くことができた。また、同学年2組の「はたらく犬もの知りカード」を見ることで、犬についていろいろな情報を知ることができた。
- 児童の中には自分のテーマに合う資料を探し出すことが難しかったり、資料の内容をまる写しで終える者もいたりした。調べ学習では必ずしも三年生向けの資料があるとは限らないので、児童の実態に応じて資料を読むための手助け、個別の支援が必要である。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★「新犬種大図鑑」 (ペットライフ社)
 - 『はたらく犬』全4巻 (学習研究社)
 - 『社会でかつやくするイヌたち』全8巻 (鈴木出版)
 - 『イヌ』 (佑学社)
 - 『盲導犬ものがたり』 (金の星社)
 - 『わたしは盲導犬訓練士』 (旺文社)
 - 『今日からはあなたの盲導犬』 (岩崎書店)
 - 『盲導犬になったクイール』 (あすなる書房)
 - 『盲導犬不合格物語』 (学習研究社)
 - 『ハニーが盲導犬になるまで』 (国土社)
 - 『クイールはもうどうけんになった』 (ひさかたチャイルド)
 - 「介助犬シンシア教科書に」(新聞記事) (高知新聞)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。



三年（ ）（組 名前）

はたらく犬について調べてみよう

1 調べてみたい犬

Blank box for writing the dog to be researched.

2 知りたいこと

Blank box for writing what you want to know.

3 だいたいだと思ふことを書き出してまじよう。

- 調べた本の名前
- 作者の名前
- 出版社の名前
- 出版された年

() () () ()

(記入例)

三年（一）（組 名前）

はたらく犬について調べてみよう

1 調べてみたい犬

Blank box for writing the dog to be researched.

もうどう犬

2 知りたいこと

もうどう犬になる犬は、一さいになるまで、どうやって育てられるのか知りたい

Blank box for writing what you want to know.

3 だいたいだと思ふことを書き出しましょう。

●子犬は、うまれてからたった二ヶ月で母犬とわかれ、飼育ボランティアと呼ばれる家庭にあずけられます。人間や、人間の生活になれるためです。

●母犬とはなれるけど、子犬はボランティアの家庭で、愛情をたっぷり受けて育てられます。

●人間の子ともとおなじように、かわいがられて育つことで、犬は人が好きになるのです。

- 調べた本の名前 (社会でかつやくするイヌたち、盲導犬)
- 作者の名前 (○○○ △△)
- 出版社の名前 (○△出版)
- 出版された年 (二〇〇二年)

() () () ()

第3学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 宮脇 育代（須崎市立多ノ郷小学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで図書館の本を活用した読書指導として、「読書カード」（読んだ本の感想を書く）の取組や、本の紹介をし合う「読書郵便」等を行ってきている。

本単元では、『エルマーのぼうけん』を読み通す練習を通して、少しずつ毎日読んで楽しむ読書の大切さを教え、日々の読書活動を充実させたい。また、長い物語に挑戦することを通して、国語科の読むこと的能力を育てていきたい。

1 単元名 「本は友だち」

2 単元について

本単元では、著名人の読書体験について書かれた文章を読む活動を通して、読書への関心を高め、目的に応じていろいろな本を読む能力を付けることをねらいとしている。

興味・関心がより広がるこの時期の児童に、絵本だけでなく、文章を読み込むことにも慣れさせていきたい。そこで、一学期に引き続き、積極的に学校図書館などの施設を利用し、多読を促すことを目的として、読書案内や図書紹介を利用して自分が選んだ本を読ませたり、三年生の本棚に記載されている『エルマーのぼうけん』を全員で読み通すことを取り入れたりすることで、楽しみながら長い物語に挑戦するきっかけとし、少しずつ毎日読んで楽しむ読書につなげたい。また、本教材『エルマーのぼうけん』を読み通す練習の前には、『エルマーのぼうけん』の最初の部分の読み聞かせを行い、エルマーがりゅうを助けに行く理由を捉えさせたり、これから起こる冒険に触れたりする中で、読書意欲をもたせたい。各自で読んでいく（一人読み）という方法で進めていき、どの動物に対してどの道具が役に立ったかの答えを読み取らせていくことで、読むこと的能力を育てるための手立ての一つとしたい。

3 単元の目標

読書への関心を高め、多様な本を読む。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">興味のある本を探し、進んで本を読もうとしている。『エルマーのぼうけん』に関心を持ち、最後まで読もうとしている。『エルマーのぼうけん』を読み、エルマーの持ち物に着目しながら感想を述べようとしている。	<ul style="list-style-type: none">読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を選んで読んでいる。場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読んでいる。叙述に基づいて想像して読んだことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。	<ul style="list-style-type: none">言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解して文章を書いている。

5 単元の概要（全4時間）

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○読書体験について書かれた文章を読む。	○教科書P88・89「本との出会い」を教師が範読して聞かせ、紹介される本や読書体験に関心をもたせる。
2	○教科書で紹介している本や友達が紹介する本を参考に、読みたい本を探して読む。	○友達と「読書カード」を交換して読み合わせるようにさせる。
3	○教科書で紹介されている『エルマーのぼうけん』の本を読む。	○『エルマーのぼうけん』の最初の部分を読み聞かせ、エルマーが「りゅう」を助けに行く理由を捉えさせる。 ○エルマーの持ち物を提示し、どのような冒険になるのか、関心をもたせる。 ○『エルマーのぼうけん』に続く2冊の本『エルマーとりゅう』『エルマーと16びきのりゅう』を紹介する。
4	○『エルマーのぼうけん』の本を読み、感想を発表し合う。	○読書カード（読んだ本の感想を書く）を書かせ、感想を発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付かせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [3 / 4 時間目]

- ・『エルマーのぼうけん』に関心を持ち、最後まで読もうとしている。
- ・叙述を基に想像しながら、エルマーが持って行った物を手がかりに、どの動物に対して使ったのかを判断して読んでいる。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読 む 能 力	言語についての知識・理解・技能
・『エルマーのぼうけん』に関心を持ち、最後まで読もうとしている。	・叙述を基に想像しながら、エルマーが持って行った物を手がかりに、どの動物に対して使ったのかを判断して読んでいる。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 どうぶつ島の地図から書名を考える。	・どうぶつ島の地図を提示し、書名を考えさせる。反応がなければ、すぐに書名を伝える。
	2 本時の課題を確認する。	
	『エルマーのぼうけん』の本を楽しもう。	

展 開	3 『エルマーのぼうけん』の最初の読み聞かせを聞き、関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 『エルマーのぼうけん』の最初の部分を読み、エルマーが「りゅう」を助けに行く理由を捉えさせる。
	4 『エルマーのぼうけん』を読む。(どの動物に対してどの道具が役立ったのか答えを見付けながら読む。)	<ul style="list-style-type: none"> 『エルマーのぼうけん』を各自で読む。(ヒントカードを用意して、エルマーが持って行った物をどの動物に対して使ったのかを考えさせる。)
	5 しおりを使って終わるようにさせる。	<ul style="list-style-type: none"> しおりの使い方を説明する。
終 末	6 『エルマーのぼうけん』に続く本の紹介をする。	<ul style="list-style-type: none"> 『エルマーのぼうけん』に続く2冊の本『エルマーとりゅう』『エルマーと16ぴきのりゅう』や、「きっとある キミの心にひびく本」の掲載図書も併せて紹介する。

準備物

- 『エルマーのぼうけん』35冊
- 『エルマーとりゅう』
- 『エルマーと16ぴきのりゅう』
- 絵カード(エルマーが持って行った物)
- しおり
- 「きっとある キミの心にひびく本」
- ズッコケシリーズの本

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

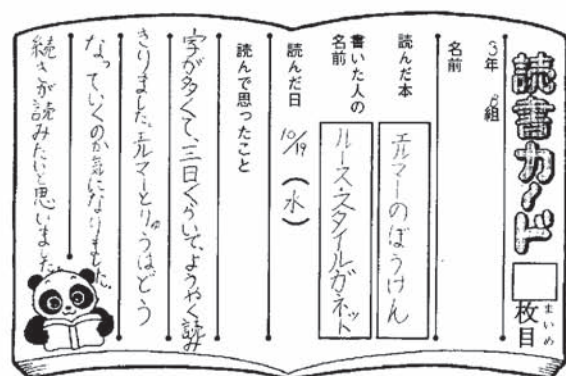
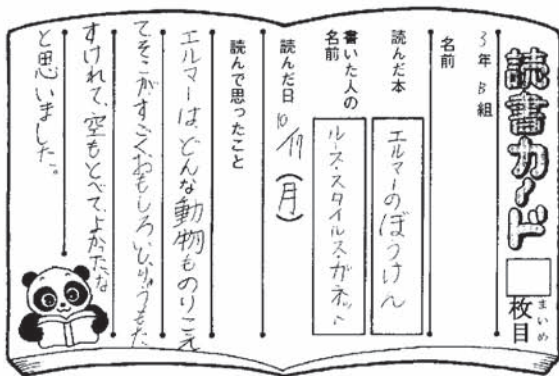
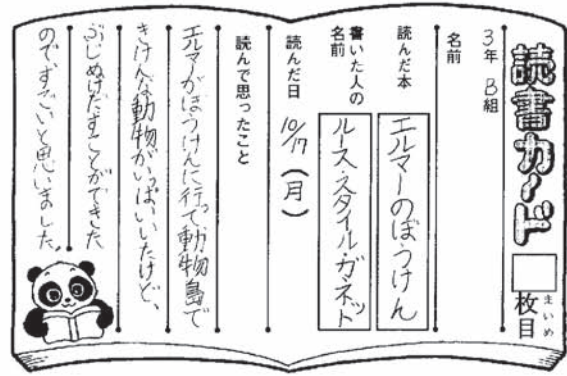
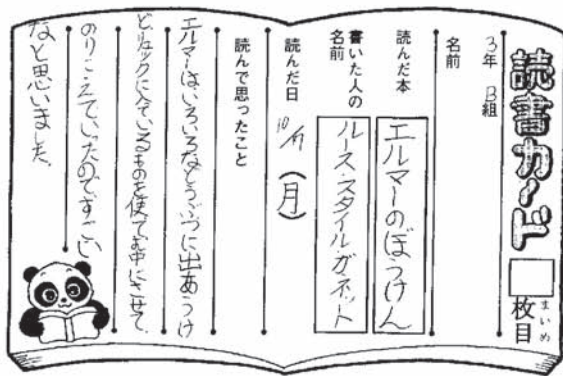
- 導入で、大きな地図を掲示したり、『エルマーのぼうけん』の最初の読み聞かせを行ったり、エルマーが持って行ったものをリュックに入れておき、それを掲示していくことで、長い物語を読みたいという意欲付けができてよかった。
- 授業後、その日の給食の待ち時間に続きを読んでいる児童がいた。次の日の朝読書の時間には、どの児童も『エルマーのぼうけん』を手に「先生、おもしろい。」と読む姿が見られた。
- 児童が読みたいと思うしかけがあった授業であり、一人読みも真剣に読んでいてよかった。
- 本単元の学習から、日々の読書活動へつなげていけるよう学級担任と更に連携を取っていくことが必要である。また、児童の学習意欲を持続させるために、貸し出しや返却時の声かけ、図書配架についても更に工夫していきたい。



8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『ズッコケ脅威の大震災』 (ポプラ社)
 - 『ズッコケ三人組のミステリーツアー』 (ポプラ社)
 - 『ズッコケ海底大陸の秘密』 (ポプラ社)
 - 『ズッコケ三人組の学校の怪談』 (ポプラ社)
 - 『子どもの読書力を育てる 学校図書館活用法』 (黎明書房)
 - 『エルマーとぼうけん』 (福音館書店)
 - 『エルマーとりゅう』 (福音館書店)
 - 『エルマーと16ぴきのりゅう』 (福音館書店)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

(読書カード)



第3学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 門田 直子 (T1) 金澤 佳子 (T2) (高知市立追手前小学校)

～学校図書館活用の視点～

本校では、低学年から図書資料を活用して生活科や国語科等で簡単な調べ学習を行っている。本単元では、自分が調べたい内容の図書資料を選び活用していく中で、いろいろな植物についての知識や情報を広げていく。また、友だちの発表を聞くことで、いろいろな図書資料の活用の仕方を身に付けさせたい。

1 単元名 「広げて読もう」

2 単元について

「ゆうすげ村の小さな旅館」では、ファンタジー独特の表現を味わいながら想像力を広げさせたい。不思議な物語を読む楽しさを実感し新たなジャンルへ読書を広げるきっかけとすることができるだろう。

児童たちは、「ゆうすげ村の小さな旅館」を学習し、物語の中に出てきたよもぎやタンポポの料理に大変興味をもっている。学習1時間目の読みの後に、好きな場面の絵を描かせると多くの児童たちが、料理の絵を描いていた。指導書の中には「もっと読ませたい本」のコーナーがあり、料理の本が紹介されている。まさに、「よもぎだんご」の絵本は、読書を広げる最適の図書だと言えるだろう。また、意味を確かめておきたい語句の中にも「よもぎ」が挙げられている。そこで、「よもぎだんご」さとうわきこ・作(福音館書店)や、いろいろな植物図鑑を活用し知識や情報が広がるように単元を組み立てた。

「よもぎだんご」に出てくる身近な植物を調べることで、よもぎ以外の食べられる植物にも関心をもってもらいたい。さらに、興味をもった植物は、植物図鑑や図書資料を活用し自ら調べることで、知識や情報を広げていってほしい。

3 単元の目標

- (1) 場面の移り変わりや登場人物像に着目して、あらすじをまとめる。
- (2) ファンタジー作品に触れることで、さらなる想像力を養い読書範囲を広げる。
- (3) いろいろな図書資料を使って調べる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・ 不思議な物語を読むことに興味をもち、楽しんで読もうとしている。・ 内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読もうとしている。・ 読んで感じたことを明らかにしながら、幅広く読書しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に、想像して読んでいる。・ 自分の課題を解決するのに必要な図鑑や資料を選んで読んでいる。・ 自分の解決すべき課題に応じて、中心となる語や文を取り出して読んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・ 理解するために必要な文字や語句について、辞書や図鑑を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を身に付けている。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○学習のねらいを確かめ、学習の見通しをもつ。	○物語を読み、初発の感想を書かせる。
2 7	○人物像について考え、物語のしかけを確かめる。 ○場面を分ける。 ○大事なところを確かめ、あらすじを書く。	○登場人物の会話から性格を考えさせる。 ○どの場面でどんな人物だと思ったか考えさせる。
8 9	○大事なところを確かめ、あらすじを書く。	○「だいじなことば」を確認させる。 ○「いつ、どこで、だれが、どうした」をしっかりとつかませる。
10 13	○『よもぎだんご』の絵本の中に出てくるいろいろな植物について図鑑を使って調べる。 ○『よもぎだんご』の絵本の中に紹介されている作り方（きる、ゆでる、むす、こねるなど）の手順をおさえる。	○『よもぎだんご』の絵本の中に出てくるいろいろな植物の特性（色、高さ、におい、食べ方など）を図鑑で調べさせる。 ○『よもぎだんご』の絵本を読み、作り方の手順を確認しながら、よもぎだんごを作らせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [11/13時間目]

「よもぎだんご」の絵本に出てくる食べられる植物について、植物図鑑や参考図書を使って植物の特徴などを調べる。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読 む 能 力	言語についての知識・理解・技能
・自分が調べたい植物の特徴（葉やくきの形や色、食べ方、利用の仕方など）について興味をもち、図書資料から調べようとしている。	・必要な情報を得るために、目的に合った図鑑や参考図書を活用している。	・理解するために必要なことについて、図鑑や図書資料を利用して索引などで調べる方法を理解し、調べる習慣を身に付けている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 前時に調べた植物について発表する。(前時に、「よもぎだんご」の絵本に出てくる植物の中から、自分で調べてみたい植物を植物図鑑で調べている。)	・自分が調べた植物を発表させる。 ・調べた植物を確認させる。

展 開	2 自分の調べた植物について、前時とは違う 図鑑や参考図書を使って調べる。 ・いろいろな参考図書を調べてみよう。	・いろいろな参考図書があることを紹介する。 ・使った参考図書名を必ず書き込ませる。
	3 調べたことを発表する。	・発表の際には調べに使った参考図書は必ず 紹介させる。
終 末	4 友だちの発表を聞いて、なるほどと思った ことを書く。	・数名に発表をさせる。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 調べたいときに調べたい本がすぐにあるという読書環境により、児童の学習意欲が高まり、他の植物へと関心の広がりが見られた。
- 公立図書館からもたくさんの資料を借りてきたことで、複数資料で観点の違ったものを調べることができていた。
- ワークシートの書くスペースを少なくしたことで、ほとんどの児童がスペースいっぱい書き込むことができ、満足感が得られた様子だった。
- 「この本は、索引が前にある！」と発見した児童がいたことで、索引の場所は、本によって異なるということを全体に知らせることができた。また、調べたい植物を自分で決め、索引から探して調べていく場面が見られた。
- 調べたいという意欲を高め、その意欲を継続させるためには、新しい発見を感じさせることのできるような図書資料の提供等の手立てと工夫が必要である。
- 児童が疑問に思ったことを次時に解決させることは、次のステップへの動機付けとなる。指導者が情報収集に努め、児童一人一人が、どんな疑問をもっているか等を把握しておくことが大切である。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- 『よもぎだんご』かがくのとも傑作集 (福音館書店)
- 『野の草花』福音館のかがくのほん (福音館書店)
- 『カラー植物百科』 (平凡社)
- 『旺文社学習図鑑携帯版植物』 (旺文社)
- 『オルビス学習科学図鑑野外植物』 (学研)
- 『植物の図鑑』 (小学館)
- 『学研の図鑑植物』 (学研)

よもぎだんご No.6 名前

よもぎだんごにててくる植物について
いろいろ調べてみましょう。

植物 セリ 香のいい野草
自分の名前とよもぎだんごのえだしい高さは
たけのこをこぼさず

植物 つくし 香ののくもばな
つくしは同じく物で
つくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち




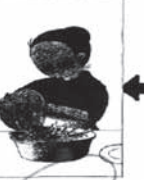

植物 のぎ 香ののぎはな
のぎはなは同じく物で
のぎは香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち





先生のしるべたことを聞いて
よもぎだんごのえだしい高さは
たけのこをこぼさず
つくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち



よもぎだんご No.3 三年二組

よもぎだんごを作るしるべを作
の中によもぎだんごをいれて

① 準備

② 混ぜ

③ 丸く

④ ころす

⑤ ゆでる

⑥ すす

⑦ まがしてめろ

⑧ まるめど

でき上がり!

よもぎだんご No.3 三年二組

よもぎだんごにててくる草です。名前を調べてみましょう。

植物 なずな

植物 つくし

植物 のぎ

植物 つくし

植物 のぎ

植物 つくし

植物 のぎ

植物 つくし

よもぎだんごのえだしい高さは
たけのこをこぼさず
つくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち
につくしが香ののびてほうち

- 25 -

第3学年 社会科 学校図書館活用実践例

指導者 石川 純子（いの町立伊野南小学校）

～学校図書館活用の視点～

地図と絵を比べながら読み進めることのできる本を使い、地図記号や方位等について興味をもって学んでいくようにする。本単元では、地図の見方について学んだことを、身近な校区の地図づくりにおいても活用するようにしている。地図についての本を紹介することもあわせて、学習や生活において、様々な資料を活用する能力や意欲を育てることにつなげていきたい。

1 単元名 「学校のまわり」

2 単元について

学習指導要領の内容（1）に関する単元であり、（1）の取扱い項目として、方位や主な地図記号を扱うことが明記されている。児童は、生活科の学習において、校区内の施設を訪問したり、公園へ遊びに行ったりした経験はあるが、身近な地域の地形や土地利用の様子、公共施設の場所と働き等について調べる学習は初めてである。調べたことを絵地図や白地図にまとめることにも取り組むので、地図記号や方位等の基本的な地図の見方について理解するための技能や、地図を正しく読もうとする意欲を育てることが大切であると思われる。

本時においては、方位や地図記号の既習内容を生かして、『ぼくらの地図旅行』という本の地図と絵を照合しながら、目的地までの旅をしていくという活動をする。本をグループに1冊用意し、方位や地図記号を手がかりにして、白地図に足取りを書き込ませていくようにする。グループの中で順番に書き込みをしていくが、迷った時には、グループで一緒に考えて協力し合うようにさせたい。また、図書室にある地図に関する本についても紹介し、図書活用への意欲付けも図る。

本時の学習後、書き込みをした白地図を見直してまとめる活動を予定している。方位や地図記号について学んだことを生かして、分かったことを適切に表現できるようにしていきたい。

3 単元の目標

- (1) 自分たちの住んでいる身近な地域の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを理解し、地域社会に対する誇りと愛情をもち。
- (2) 身近な地域の様子から学習問題を見出し、観察、調査して調べたことを絵地図や白地図などにまとめるとともに、場所による様子の違いや身近な地域の特色やよさを考え、適切に表現する。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
・身近な地域の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働	・身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などに	・観点に基づいて観察したり聞き取り調査をしたりして、身近な地域の様子について必要な情報を集めて読み取るとともに、調べたこと	・身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所

き、交通の様子、古くから残る建造物などを意欲的に調べ、身近な地域のよさを考えようとしている。	ついて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに地域の特色やよさ、場所によって地域の様子には違いがあることについて考え、それらを適切に表現している。	を主な地図記号や方位などを用いて絵地図や白地図等にまとめている。	と様子が分かるとともに、地域の様子は場所によって違いがあることや、身近な地域の特色、よさを理解している。
--	---	----------------------------------	--

5 単元の概要（全13時間）

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○通学路や家のまわりの様子を思い出し、どんな自慢の場所があるか紹介し合う。	○生活科での学習経験を想起させながら、自慢の場所を出させる。
2 ・ 3	○学校のまわりを調べる計画を立て、調べる際の「学習問題」をつくる。	○「つかむ→調べる→まとめる・いかす」という問題解決的な学習の進め方についてつかませる。
4 ┌ 7	○学習計画に基づいて、学校のまわりを探検する。	○コース別に探検し、見付けたり不思議に思ったりしたことを白地図に書き込ませる。
8	○コースごとに調べた白地図をつなげ合わせて、分かったことを発表し合う。	○東西南北の方位についてしっかりおさえさせる。
9 ・ 10	○地図に地図記号を入れてみる。	○方位、基本的な地図記号について「まなび方コーナー」を活用して確認させる。
11	○地図記号や方位を手がかりにして地図を読み取る。	○「ぼくらの地図旅行」の本を活用して地図と絵を照合しながら読み進め、楽しく分かりやすく学習できるようにする。
12 ・ 13	○地図と航空写真とを比べながら、学校のまわりを探検して分かったことをまとめる。	○歩いて観察したり、高い所から見渡したりするとその地域の様子や特色が分かることに気付かせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [11/13時間目]

地図記号や方位を手がかりにして、地図を読み取る。

(2) 本時の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	観察・資料活用の技能
・地図記号や方位に関心を持ち、地図を読み取る活動に意欲的に取り組もうとしている。	・地図記号や方位を手がかりにして、地図を読み取っている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 方位や地図記号について復習する。 地図を正しく読み取って地図旅行をしよう。	・カードを使って問題を提示し、学習への関心や意欲をもたせる。
展 開	2 今日の学習活動や『ぼくらの地図旅行』の話の概略を知る。 3 『ぼくらの地図旅行』の本に出てくる地図や絵を照合しながら、進んだ足取りを白地図に書き込んでいく。 4 修正測量や新しい地図記号等について知る。 5 「絵による索引」について知る。 6 地図に関する本を紹介する。	・電子黒板を使って概略を簡潔に提示し、どのような活動をするのか見通しをもたせる。 ・方位や地図記号等を手がかりにして足取りを探させる。順番に一人ずつ作業をするが、分かりにくいときには、グループで協力して探すように促す。 ・進んだ足取りを全員で確認しながら、作業を進めていくようにする。 ・目的地の灯台の場所が移転していることを本の挿絵で確かめさせ、地図の修正や新しい地図記号等についても知るようにする。 ・図鑑の索引のように、ページ数を手がかりに探せることを確認させる。 ・発達段階に応じた本を紹介する。図書室のどこに置かれているかも紹介する。
終 末	7 地図について分かったことや感じたことを書く。	

※準備物

『ぼくらの地図旅行』（絵本） 書き込み用地図 掲示用地図 パワーポイント資料
ワークシート 地図記号カード 方位カード 参考図書

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

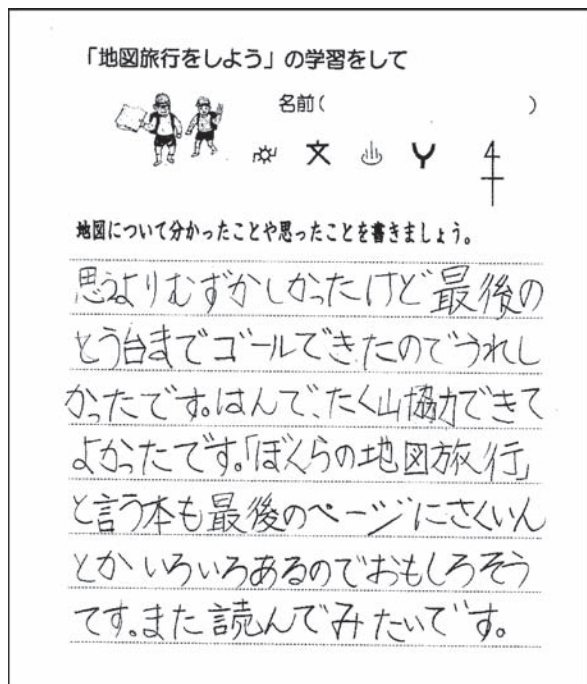
- 本内容及び地図の読み取りという学習は、児童にとって難しいところもあったが、登場人物たちのように班で相談しながらゴール地点を目指すという活動に、協力して取り組むことができていた。
- 電子黒板を利用して、地図のルートを書き込ませたり、読み取りのポイントを提示したりすることで、内容がつかみやすくなった。
- 絵による索引に興味を示した児童が多かった。授業後、教室の隣の空き教室に『ぼくらの地図旅

行』の本を置いておくと、本を楽しみながら読んでいる姿を見かけた。

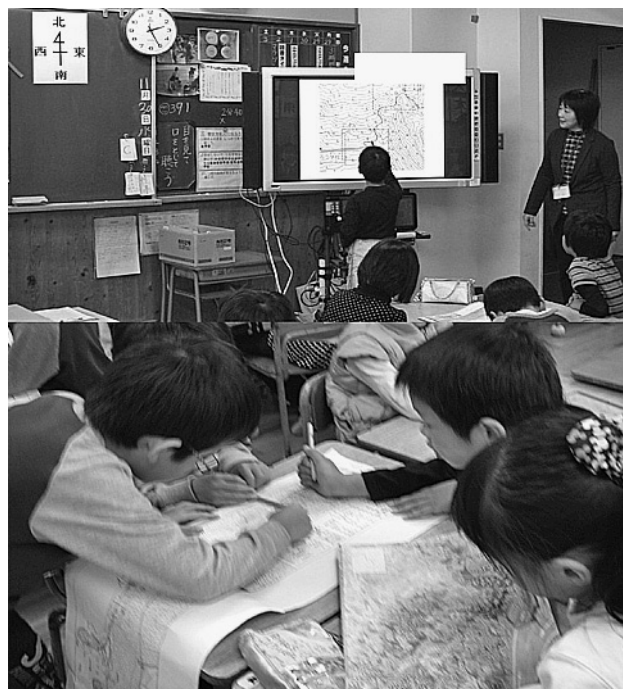
○今回は、主に地図記号と方位を手がかりとして、地図を読み取る学習内容であったが、縮尺や等高線などの学習においても、『ぼくらの地図旅行』という本を活用できる。ねらいに応じて活用の仕方を工夫し、継続して学習する場を設定すると、児童の興味・関心を高められると思う。

●グループの席が向かい合わせになっていたので、本の地図や本文が全員に見えにくかった。4人に1冊ではなく、2人に1冊本があるとよかった。近隣校や公共図書館で借りるなどの手立てが必要であった。

[ワークシート]



[授業風景]



8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

★『ぼくらの地図旅行』

(福音館書店)

○『こうすればつかえるよくわかる 地図の読みかた遊びかた絵事典』

(PHP研究所)

○『辞書びきえほん 日本地図』

(ひかりのくに)

○『KID'S MAP 日本がわかるちずのえほん』

(学研教育出版)

○『まちを探検しよう』

(ポプラ社)

○『小学校3・4年生社会科副読本 いののくらし』

(いの町教育委員会)

※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

第3学年 算数科 学校図書館活用実践事例

指導者 藤島 智恵子（室戸市立室戸小学校）

～学校図書館活用の視点～

一万を超える大きな数の指導では、具体的に数えたり、数を唱えたりすることが難しくなってくる。故に、数の大きさについて実感を伴ってとらえることができるように、身近なものなどを例として、イメージをふくらませ、数についての感覚を豊かにしていくことが大切である。

本教材は、数の魔法使い「マーベラシモ」を案内役として、百万、千万、一億、一兆などという大きな数が実際にどれくらいの大きさかということ、子どもが想像しやすいものを例にとり、楽しい挿絵とともに示していく。この絵本の読み聞かせを通して、児童に、数って不思議だな、おもしろいなという感想を抱かせ、算数の学習への意欲につなげていきたいと考える。

1 単元名 「10000より大きい数を調べよう」

2 単元について

児童はこれまで、数については第2学年で百から千、そして一万までに範囲を拡大し、十進位取り記数法による数の表し方、数の構成、系列、順序、大小、それぞれの位の大きさの関係などについて学習してきた。

本単元では、既習の4位数までの数の仕組みをもとにして、数の範囲を一億の位まで広げ、十進位取り記数法についての理解を一層深めることを目的としている。第2学年までは4位数までの数について、主に具体的なものを数える活動を通して、数の表し方や、数の仕組みを学習してきた。しかし、第3学年では、さらに大きい千万から一億までの数を扱うことにより、具体的に数える活動は難しくなり、抽象的な思考が必要となる。そこで、本単元では、数の表し方や数の仕組みに目を向けさせて、「10のまとまりごとに新しいひとつのまとまりに表すこと」と、「数字の位置によって数の大きさが異なることを十分に理解させたい。さらに、位取り表を使って数カードを操作させたり、数直線に表したりする活動を通して、数の大きさのイメージを視覚的に捉えさせ、正しい数の書き表し方と数の大きさについて理解を深めさせたい。

3 単元の目標

万の単位について知り、一億までの整数についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。

4 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
・十進位取り記数法の有用さに気付き、身の回りにある大きな数を書いたり読んだりして、生活や学習に用いようとしている。	・千万の位までの数について、既習の数の仕組み（十進位取り記数法）から類推して考え、見方を深めている。	・千万の位までの数を表したり読んだりすることができ、十進位取り記数法の仕組みを基に、1つの数を10倍、100倍、10分の1にした大きさを表すことができる。	・万の単位について知り、十進位取り記数法の仕組みについて理解している。 ・等号、不等号の意味について理解している。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○絵本を題材にした、豊かな数の大きさについての感覚	○絵本の読み聞かせを通して、児童に具体的な場面を想像させながら、大きな数のイメージをつかませる。
2	○一万の数までの数の読み方、書き方、構成の仕方	○身の回りで見かける大きい数を読んだり表したりする活動や、自由な話し合いなどを通して、一万を超える数への関心を高めるようにする。 ○位取り板や、数カードを使って、それぞれの位に対応させながら数字を記入し、「一万の位」を導入していく。
3	○十万、百万までの数の仕組みと百万までの読み方、書き方	○既習の数の位取りの仕組みから考えて、一万の位の左が、十万の位、百万の位になっていることから、その更に左は千万の位であろうという見通しをもたせる。
4	○千万までの数の仕組みと読み方、書き方、構成の仕方	○位取り表を書かせて、数字を当てはめていくようにさせる。とくに空位のあるときは0を書くことに注意させる。
5	○数の相対的な大きさを表すこと	○1000を10こ集めた数がいくつになるかを考えることを通して、1000を23こ集めた数を考えさせる。
6	○数直線を用いた数の大小や順序の理解、一億という数	○手順を踏んで数直線の読み方を理解させる。 ①読む目盛りを挟む両隣の数値を確認する。 ②この数値間の目盛りがいくつあるか数える。 ③目盛り一つ分の大きさを捉える。 ④左の数値(0)から目盛りを一つずつ)から目盛りを一つずつ読み、数値を読む。
7	○数や式の相関関係や、大小関係の表し方	○=、>、<の使い方を板書して、開いている方が大きいことを視覚的に捉えさせる。 ○等号や不等号は、数と式でも、式と数でも使えることを確認させる。
8	○数のいろいろな見方や表し方	○既習の数の構成や、相対的な大きさを基にしてその数を表すように促す。 ○ $76000=70000+6000$ というように、式で表せる考えについては、式で表すようにさせる。
9	○整数を10倍した数の表し方	○形式的にもとの数の右に0を一こ付けるというだけでなく、10倍して、位が一つ上がったことと関連付けて理解させる。
10	○整数を100倍した数、10でわった数の表し方	○ $10 \times 10 = 100$ だから、「10倍の10倍」ということは100倍と同じであるということをおさえる。 ○図などを使って視覚的に捉えさせる工夫をする。
11	○学習内容の理解	○数や式の大きさを比べる場面ですまづいている児童には、式表示されている部分は先に計算して、数と数で比べるように助言する。
12	○発展問題	○数の相対的な大きさですまづいている場合は、位取り表を書いて考えるように助言する。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [1/12時間目]

絵本の読み聞かせを通して、大きな数のイメージをつかむ。

(2) 本時の評価規準

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方
・一万を超える大きな数に関心をもち、数字を読んだり書いたりして、数のイメージをつかもうとしている。	・一万から一億の数の仕組みについて、既習の数の仕組みから類推して考えている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto;">100万ってどれくらい？</div> ○100万という数のイメージを話し合う ・100万円 ・100万キロメートル ・100万冊	○普段の生活の中で、100万という数字がどこで出てくるかを思い出させる。 ○イメージがわからない児童がいれば、その場では深入りせず、確認しておく。
展 開	2. 絵本を読み聞かせる。 ・絵本に示されている100万という数の例を一つ一つ確認していく。 ①人間やぐらの高さ クイズ ②100万までの数え方 ワークシート ③金魚ばちの大きさ クイズ ④100万個の星の数 クイズ	○「100万ってどれくらい？」の絵本の前半を読む。 ○具体的な作業（クイズ、ワークシート）を入れながらイメージをふくらませる。 ・どれくらいの高さ？ 長さ？ 量？ 数？
終 末	3. 絵本の後半を読み聞かせる。 4. 振り返りシートを書く。	○間をもたせて、億や、兆という数字を想像させながら、絵本の後半を読む。

準備物：絵本 『100万ってどれくらい？』 デビット・M・シュワルツ作 文研出版
ストップウォッチ ワークシート 振り返りカード

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 児童の生活や、実体験に照らし合わせた具体的なイメージを思い浮かべることのできる図書資料を、教材として選んだことで、児童が集中して授業に取り組んでいた。
- 一万を越える大きな数の学習のプロログとして、数字に対しての抵抗感を少なくし、数の量的なイメージをつかませるといった成果があった。
- 一度読み聞かせをした本を、今度は算数の教材として使うという利用の仕方がよかった。
- 今回の授業では、例えば、児童にヒントを出しながら実際に計算させてみるなど、算数としての活動を指導案の中に入れるとよい。児童が「なるほど」と、自力で到達できる場面があれば、よ

り主体的な活動が望める。

- 普段から学校生活の中での言語環境を整える工夫が必要であることから、算数に興味を抱かせるような本（その時期に学習していることに関わる本）などを教室に提示するようにすればよい。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『コブタを数えて1からMM』 (BL出版)
- ★『かずあそび ウラパン・オコサ』 (童心社)
- ★『1^{ひと}つぶのおこめ』 (光村教育図書)
- 『100万をはかってみよう』 (文研出版)
- 『数字(すうじ)って、こ～んなにオモシロい!!』 (教育画劇)



※★印の本は、「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

ワークシート

100万ってどれくらい?	
月 日 () 年 名前	
<p>ワークシート</p> <p>(1) 声に出して、数を数えてみよう</p> <p>① 1 いち ワン</p> <p>② 25 にじゅうご トウエンティファイブ</p> <p>③ 149 ひゃくよんじゅうきゅう ワンハンドレッド フォーティナイン</p> <p>④ 123456 じゅうにまんさんぜんよんひゃくごじゅうろく ワンハンドレッド トウエンティスリー サウザント フォアハンドレッド フィフティシックス</p> <p>(2) クイズに挑戦しよう!</p> <p>◎ 一円玉100万個と、3年生全員(33人)の体重とでは、どちらが重いでしょう?</p> <p>ヒント 一円玉一個 = 1グラム 1キログラム = 1000グラム</p>	<p>振り返りカード</p> <p>◎ 今日の授業で、100万という数の大きさがイメージできましたか? 次のうち、一つに○をつけましょう。</p> <p>① はっきりできた</p> <p>② だいたいできた</p> <p>③ まだよくわからない</p> <p>はなまる日記</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 150px; width: 100%;"></div>

第4学年 理科 学校図書館活用実践事例

指導者 岩井 優子（T1）西岡 花苗（T2）村島 ひとみ（T3）（宿毛市立宿毛小学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで図書館を利用して図鑑や百科事典を使った調べ学習の仕方を学習してきた。

本単元では、図や絵、写真、文章などから読み取ったことを基に相手に分かりやすく報告したり、それを聞いたりする言語活動を充実させながら、見付けたことをまとめることなど、調べ学習を充実したものにしていきたい。

1 単元名 「わたしたちの体と運動」

2 単元について

本単元は第3学年「植物をそだてよう」「こん虫をそだてよう」の学習を踏まえて、「生命」について基本的な見方や概念を柱とした内容のうち「生物と構造と機能」に関わるものである。ここでは、人や他の動物の骨や筋肉の働きについて興味・関心をもって追究する活動を通して、人や他の動物の体のつくりと運動とを関係付ける能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、人の体のつくりと運動の関わりについての見方や考え方をもちことができるようにすることがねらいである。

指導に当たっては、自分の体に触れたり動かしたりして実感の伴った理解をさせるとともに、図鑑や図書資料を活用して他の動物について調べ、まとめることで、動物も人と同じように骨と筋肉があり、その働きで体を動かしていることを捉えさせたい。

3 単元の目標

人や他の動物の骨や筋肉の動きについて興味・関心をもって追究する活動を通して、人や他の動物の体のつくりと運動とを関係付ける能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、人の体のつくりと運動との関わりについての見方や考え方をもちことができるようにする。

4 単元の評価規準

自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての 知識・理解
・骨や筋肉の動きに興味・関心をもち、進んで、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを、観察したり、図書資料などを活用したりして調べようとしている。	・骨の位置や筋肉の存在、骨と筋肉の動きに関係付けて、それらについて予想や仮説をもち、表現している。 ・骨の位置や筋肉の存在、骨と筋肉の動きを関係付けて考察し、自分の考えを表現している。	・自分の体に直接触れたり、映像や模型などを活用したりして、人の体の骨や筋肉とその動きを観察し、その結果を模造紙に書いた等身大の絵に記録している。 ・他の動物の骨格や筋肉の働きについて調べ、その過程や結果を記録している。	・人の体には、骨と筋肉があることを理解している。 ・人が体を動かすことができるのは、骨や筋肉や関節の働きによることを理解している。 ・他の動物の体も骨や筋肉、関節によって動いたり、支えられたりしていることを理解している。

5 単元の概要（全7時間）

次	時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1 人の体のつくりと動き	1	○人の体を動かす仕組みは、どのようなになっているか調べる。	○腕相撲をするときに腕のどの部分を働かせているか、腕相撲をすることを通して、骨や筋肉が存在していることに気付かせる。
	2 ・ 3	○骨と筋肉は、わたしたちの体の中のどこにあるのか、また、曲げられるところはどこか調べる。	○全身の骨や筋肉の様子について、自分の体を触れたり動かしたりして調べさせる。また、骨格標本や筋肉について書かれた図書資料を使って調べ、話し合ったことをまとめさせる。 ・視覚的に自分たちの体のつくりについて理解させるために模造紙に等身大の体を書いて、骨格標本や図書資料で骨や筋肉を調べ、書き込ませる。 ・体の中のいろいろな部分には、骨と筋肉があり、曲がる場所があることを理解させる。
	4	○腕を曲げたり伸ばしたりするとき、腕の骨と筋肉はどのように働いているか調べてまとめる。	○調べたことを基に、骨や筋肉、関節の働きについて、まとめさせる。 ・腕がどのようにして動くかについて、自分の体や骨格標本、腕の模型を使って調べ、分かったことを話し合わせる。 ・電子黒板で腕の筋肉の動画を見ることで筋肉の動きを確認し、まとめさせる。
2 他の動物	1	○動物にも骨や筋肉はあるか予想を立てる。	○ほかの動物にも骨や筋肉があるかについて話し合い、調べてみたい動物を班で決め、予想を立てさせる。 ・電子黒板で動物の動画を見ることにより、骨や筋肉の動きを観察させる。
	2 ・ 3	○動物の骨や筋肉の働きについて調べる。	○調べたい動物の骨や筋肉の様子を図書館や坂本図書館で借りた本を使って調べさせ、ワークシートにまとめさせる。 ・さまざまな動物を調べた結果から動物も人と同じように骨と筋肉の働きによって体が動くことを理解させる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [5 / 7時間目]

他の動物の体のつくりと運動とを関係付ける能力を育て、骨や筋肉の働きについての理解を深める。

(2) 本時の評価規準

科学的な思考・表現	自然事象についての知識・理解
・骨の位置や筋肉の存在、骨と筋肉の動きを関係付けて考察し、自分の考えを表現している。	・他の動物の体も骨や筋肉、関節によって動いたり、支えられたりしていることを理解している。

(3) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 前時の予想を振り返る。 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">動物の骨や筋肉のはたらきについて調べよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 動物ごとに行った前時の予想を黒板に掲示し、骨や筋肉の付き方に注目させる。
展 開	3 グループに別れ、図書資料を基にして調べる。 4 調べたことを付箋に書き出し、グループでまとめる。 5 グループごとに調べたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 選んでおいた図書資料を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書資料</div> (下記「指導上参考となる図書資料」参照) ワークシートに調べたことを絵や文字で書き込ませる。 拡大提示装置を使って発表させる。
終 末	6 まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">動物の体も骨や筋肉がついていて、そのはたらきで体が動いている。</div>	

(4) 準備物

図書資料 電子黒板 拡大提示装置 ワークシート 付箋 授業評価表

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

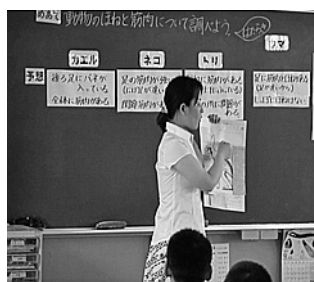
- 図書資料や動画を活用することによって、動物の骨や筋肉の働きについて理解が深まった。
- 本時のテーマに沿って各班で図書資料を使って意欲的に調べ、付箋に書き込むことができていた。
- 調べ学習では、役割分担をして意欲的に作業に取り組めた。
- 本時の授業構成において、内容が多くなりすぎていたため、時間が足りなかった。調べたことを、全体のものにするため、授業内容を精選し、まとめと発表は次時に取ることで、しっかりと全体へ広げていくようにしていく。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『BODY 驚異の人体探索』 (山と溪谷社)
- ★『めぐってわかる*からだのしくみ 人体絵本』 (ポプラ社)
- 『講談社カラー科学大図鑑 ネコ』 (講談社)
- 『ネイチャーワークス地球科学館』 (同朋舎出版)
- 『日本動物解剖図説』 (森北出版)
- 『ホネホネ絵本』 (あすなる書房)
- 『ホネホネどうぶつえん』 (アリス館)

- 『ホネホネたんけんたい』 (アリス館)
- 『ホネホネすいぞくかん』 (アリス館)
- 『ホネからわかる！動物ふしぎ大図鑑 ①日本の動物たち』(日本図書センター)
- 『ホネからわかる！動物ふしぎ大図鑑 ②世界の動物たち』(日本図書センター)
- 『WONDER WORLD Questions&Answers 2 動物の世界(1)』
(TBS・ブリタニカ)
- 『ビジュアルディクショナリー 動物』 (同朋社出版)
- 『生きているバネ』 (大日本図書)
- 『足はなんぼん?』 (国土社)
- 『オルビス学習科学図鑑 鳥』 (学習研究社)
- 『小学生の図鑑NEO鳥』 (小学館)
- 『講談社の動く図鑑MOVE動物』 (講談社)
- 『ビジュアル博物館 骨格』 (同朋舎出版)
- 『知のビジュアル百科 ホネ事典』 (あすなろ書房)
- 『学研の図鑑 人とからだ』 (学習研究社)
- 『ふしぎびっくり!?こども図鑑』 (学習研究社)
- 『図鑑ピクチャーペディア ひとのからだ』 (ほるぷ出版)
- 『大自然のふしぎ 人体の図詳図鑑』 (学習研究社)
- 『人体・保健 原色学習ワイド図鑑13』 (学習研究社)
- 『透視シリーズ図鑑2 からだ』 (リブリオ出版)
- 『新学習指導要領・生きる力 2011年4月7日 小学校理科の観察、実験の手引き』
(文部科学省)

※★印の本は、「きっとある キミの心に ひびく本(小学生版)」に掲載しています。



第4学年 学級活動 学校図書館活用実践事例

指導者 山崎 光世（南国市立後免野田小学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで図書館の絵本『私の足は車いす』を使って学習を行ってきた。また図書館では6月の目標として「環境・障害・ボランティア」を取り上げ、期間中障害理解に関する本の棚を設け、紹介もしてきた。

本時では人権的な視点をもって学級活動を進める。終末の活動のまとめの際、ふだんリストブックの棚でもあまり手に取られにくい《こころ》のグループの本を用い、ブックトークで簡単に紹介し、児童の読書の幅を広めたい。

1 題材名 「つながる楽しさを知ろう～やさしいことばで話そう～」

2 題材について

『小学校学習指導要領解説 特別活動編 平成20年8月』P55には、「中学年の段階になると、学校生活にも徐々に慣れ、活動範囲も広がっていく。その一方で小集団をつくり、その集団を中心に活動したいと願う児童も増えるため、小集団間や小集団の中で様々な摩擦が生じ、人間関係に問題が生じやすい時期でもある。このため、例えば望ましい人間関係の形成について、社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れるなど工夫し、協力して楽しい学級生活が築けるようにすることが大切である。」ということが示されている。

そこで、この時期、楽しい学級生活をつくるための手立ての一つとして、相手のことを思いやっで話し合ったり行動したりすることを取り上げることにした。時には異なる考えであってもしっかり聞いたり、理由を明確にしたりして意見を言うことも必要である。誰にでもよいところがあり、それらを認め合い、力を合わせたり協力し合ったりしてよりよい生活を築くために、折り合いを付けて集団決定ができる人間関係を形成する力を養う活動を充実させたい。

3 本題材のねらい

人間関係づくりに関わる活動を行い、いろいろな場合の感じ方について考え合い、認め合おうとする気持ちを持ち、学級の友達と協力して生活していこうとする意欲を高める。

4 第3学年及び第4学年の学級活動（2）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
・自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	・楽しい学級生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	・楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

5 授業の展開

(1) 本時のねらい

- ・暴力には言葉の暴力もあることを理解する。
- ・身の回りの言葉による暴力が起こったときの班の努力事項や具体的なめあてについて話し合い、学級の友だちと協力して生活していこうとする意欲を高める。

(2) 本時の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
・暴力には言葉の暴力もあることに気づき、意欲的に話し合いに取り組もうとしている。	・問題が起きたときの対処の仕方におけるめあてを見出し、よりよい解決方法を考えている。	・楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

(3) 事前の指導

学 習 活 動	指導上の留意点
・「やさしいことばで話そう」について話し合う。	・月々に設定されている生活目標のひとつとして学級での取組を話し合わせる。

(4) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 暴力について考える。 暴力とは？ ～言葉の暴力について考えよう～	・暴力を受けたときの気持ちを絵カードから選ばせる。 ・暴力には「たたく・ける」等の力によるものだけでなく、言葉の暴力もあることに気付かせる。
展 開	2 言われて嫌な言葉とその理由を考える。 ・うざい、あっちへ行け、だまれ等 3 言われて嬉しい言葉とその理由を考える。 ・すごい、がんばりゆうね、じょうず等 4 嫌な言葉・嬉しい言葉をかけられたときの気持ちをそれぞれ考える。 5 嫌な言葉と暴力を受けたときの気持ちの共通点を見つける。 ・嫌な言葉も暴力	・どんな場面での状況か想起しながら言葉を付箋に記入し、仲間分けして貼らせる。 ・2について絵カードを選ばせる。 ・班で話し合わせる。 ・嫌な気持ちになったり、心が痛くなったりすることに気付かせる。

終 末	<p>6 言葉の暴力が出た時、「あなた自身どうすればよいか」できることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慰める、注意する、とめる等 <p>☆黙っていることはいじめていることと同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 (自己決定：【思考・判断】) <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図書資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>『ひとりではまんしないよ!』 (あかね書房)</p> <p>『ええやんそのまま』(エルくらぶ)</p> <p>『でっかいでっかいモヤモヤ袋』 (そうえんしゃ)</p> <p>『ともだちがほしいの』(ポプラ社)</p> </div>
	<p>7 嫌な言葉を消し、嬉しい言葉を残す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの中で嬉しい言葉を増やしていくことの大切さを理解させる。 ・まとめを書かせる。

(5) 事後の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ・ハート型の掲示物の中に、嬉しい言葉をふやしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会の発表等の機会の中で確認し、意欲の継続化を図る。

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

- 学校・学級内にとどまらず自分の生活への振り返りにもつながり、学習に意欲的に取り組むことができた。
- 紹介した本について書いた児童の作文を読むことで、リストブック心のグループの本に対し関心がより深まった。
- 本時の終末、まとめの表現としてより具体的に決意が入るような指示を出すようにする。
- 児童のつぶやきや発言を拾い、児童自身の言葉で全体へ広げる授業展開を工夫する。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『ひとりではまんしないよ!』 (あかね書房)
- ★『ええやんそのまま』 (エルくらぶ)
- ★『でっかいでっかいモヤモヤ袋』 (そうえんしゃ)
- ★『ともだちがほしいの』 (ポプラ社)




※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

○使用絵カード

人権『今、どんな気持ちカード』




○ワークシート




記入例

ことばのぼう力が だれから出た時、自分にできること

- どうして口げんかになったが？
- だいじょうぶ？なぐさめる
- 言っている人を止める
- 先生にそうだんする
- 言われた人がどんな気持ちか教えてあげる




心をきずつけるのは本当によくないので、自分も言葉づかいを直したいです。




4年 名前()

ことばのぼう力が だれから出た時、自分にできること

- なぐさめたり、下しふとさう。
- 何をされたかまが聞く。
- 言葉のぼうりを言った人に「ねえ、^{ほんかに}、今ききまわらうが」とさう。
- ぼうりなどをした時、何でそんなことさうか？と聞く。
- 言われた 人に「そんなことしたらいいから」とさう。




こゝからいふこと「はじめて」はしないうんし
 ようと、いふ。...
 こゝから「ぼうり」を、さうてると、いふと、さうてると、
 と、いふ。...
 こゝから「ぼうり」をして、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
 さうして、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
 言わないうんし、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、



4年 名前()

ことばのぼう力が だれから出た時、自分にできること

- なぐさめる。
- 「何をされたの？」と聞く。
- 言った理由を聞く。
-



人の心は、すぐきずついて
 しまうのが分かった。
 言葉のぼうりは、いけないうんし、
 するぼうりは、もといけな
 いと思つた。

第5学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 山田 啓子（土佐市立高岡第一小学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで、社会科、理科、総合的な学習の時間等の調べ学習、国語科の教材については同じテーマの本を選んで読むなど、児童は学校図書館を活用してきた。

本単元では、教材文の学習後、同じ作者の他の作品に触れ、物語文に親しむこととした。児童一人一人が自分で興味をもった作品を選び、読み進めることで、作品から感じたこと、読み取ったことをまとめる力を育てたい。また、まとめたことを紹介することで、互いの学習から、読書の幅を広げる活動へとつなげていきたい。

今回、学習に当たっては、児童の作品の理解を助けるために、できるだけ挿絵の多い図書を選ぶこととし、不足する分は公共図書館を利用した。

1 単元名 「宮沢 賢治の世界を紹かいします！

～作品を紹かいするブックカバーを作ろう～

2 単元について

5年生「世界でいちばんやかましい音」では、物語の構成をとらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取る学習を行った。本教材では、作者が工夫を凝らした構成や文章表現などに着目して読むことで、物語のおもしろさを味わう学習を行う。児童は既に、「設定」「展開」「山場」「結末」という基本的な物語の構成を捉える学習を経験しているが、物語には「展開」の部分から始まるものや「結末」の部分がないもの、四つの部分とは別に、＜現在→過去→現在＞という三つの場面から構成されているものなど、作者が意図的に仕組んだものがあることを理解する段階には達していない。本教材では＜現実→非現実→現実＞という流れ、「戸」と「戸に書かれた言葉」が繰り返されるという構成を捉えさせ、そこに込められた作者の意図や効果について考えていく学習をすることで、物語をより深く味わう力を身に付けさせたい。

この教材では「C読むこと」「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」を重点的に指導する。

高学年になると読む力に個人差が現れ、自然科学やスポーツ・趣味に関する本は読むが、物語文を読むことを苦手とする児童が多くなっていく。本時では、「注文の多い料理店」以外の作品も読み、作品のおもしろさを紹介することで、作品を深く読み味わうこと、様々なジャンルの本を読み、読書の楽しさを感じることが出来る児童を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 作者が工夫を凝らした構成や文章表現などに着目することで、物語のおもしろさを読み取る。
- (2) 宮沢賢治の作品を紹介する文章を書き、宮沢賢治の世界を楽しむことができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じ、内容や要旨を捉え、自分の考えを明確にしながら文章を読もうとしている。 宮沢賢治の作品のおもしろさを伝えるために、おもしろさの工夫を探しながら、読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、工夫された書き方について自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識して文章を読んでいる。 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

5 単元の概要

時	学習内容	指導の工夫
1	○物語を読んで初発の感想を交流する。	○場面の様子や人物像を想像させながら音読をさせる。通読後、登場人物やできごとを発表させ、全員が物語の内容を大まかに捉えさせる。 ○場面の様子や二人の人物像について想像したことや表現の工夫などについても児童の感想が出るよう問いかける。
2 ・ 3	○物語の構成を捉える。	○できごとのあらましをまとめさせる。「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうして」「どうなったのか」という観点を示すことで物語の流れを捉えやすいようにする。
4 ・ 5 ・ 6	○内容を読み取り、表現の工夫を考える。	○二人の紳士の人柄や性格が分かる箇所に傍線を引かせることで人物像を考えさせる。 ○戸に書かれた言葉の意味をワークシートにまとめさせる。 ○二人の紳士に恐怖心を与えている言葉をワークシートに書き出させることで、二人の気持ちを想像させる。 ○物語の終わりの部分に着目させることで、二人の紳士の変化したところと変化しなかったところを読み取らせる。 ○言葉の使い方などに着目させて、表現の工夫やおもしろさに気付かせる。
7 ・ 8	○物語のおもしろさが分かるように「おもしろさ解説書」を作製する。	○どんなことを書くか箇条書きでまとめた上で、自分が感じたおもしろさが伝わるように工夫して書かせる。
9	○他の作品も読み、宮沢賢治の生き方や考えについて知る。	○他の作品に触れ、作者が伝えたかったことや生き方に関心をもたせる。
11 ・ 12	○宮沢賢治の作品を紹介する。	○宮沢賢治の他の作品を読ませ、紹介文を書かせる。ブックカバーの形にまとめさせる。 ○作品の良さが伝わるように、積極的に紹介させる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [10/12時間目]

宮沢賢治の他の作品を読み、紹介文をブックカバーの形でまとめるために必要な事柄を読み取ったり、あらすじをまとめたりする。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・宮沢賢治の作品のおもしろさを伝えるために、おもしろさの工夫を探しながら、読もうとしている。	・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、工夫された書き方について自分の考えをまとめている。	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)									
導 入	1 本時の目標を知る。 宮沢賢治の世界を紹いします！ 作品を紹かいするブックカバーを作ろう！	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をもとに、宮沢賢治の作品を紹介するためのブックカバーを作製することを知らせる。 必要数の図書資料を市民図書館からも借り入れて全員に行き渡るようにする。 									
展 開	2 学校図書館や公共図書館の本を利用して、宮沢賢治の作品を紹介する文章を書く。 (ブックカバーにまとめよう！) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>題名</td> <td>作者</td> <td>使用した図書の出版社</td> </tr> <tr> <td>表紙の絵</td> <td>物語のあらすじ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>おすすめのことば</td> <td>作者の紹かい</td> <td></td> </tr> </table>	題名	作者	使用した図書の出版社	表紙の絵	物語のあらすじ		おすすめのことば	作者の紹かい		<ul style="list-style-type: none"> まとめに当たっては、紹介するために必要な事柄を示す。 参考とする図書から、作品のあらすじをまとめたり、作品のよさがよく分かる挿絵を描かせたりする。
題名	作者	使用した図書の出版社									
表紙の絵	物語のあらすじ										
おすすめのことば	作者の紹かい										
	3 ポイントを踏まえている児童の作品の中から、何点か紹介し、作品のよさを見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の中から数名、工夫した点を発表させ、友だちのよい点を見付けることで、次時の自分の作製のポイントを考えさせる。 									
終 末	4 次時の学習の目標を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は、文章の記述を確認しながら、ブックカバーを仕上げることを知らせる。 									

準備物 宮沢賢治の図書（学校図書館および市民図書館の本） ワークシート 記入事項カード

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- この学習はじっくりと何度も本を読まないまとめることができない。そのため、児童は何度も読み返す必要があり、作品と真剣に向き合うこととなる。児童によっては、まとめ方が上手な作品を紹介すると、すぐ取り入れ、自分の作品をよりよいものにしようと努力する姿勢が見られた。
- 宮沢賢治の作品は、児童にとっては人物像や情景描写など、読み取ることが難解なものもある。そのため、できるだけ、挿絵の多い図書を選定した。しかし、「あらすじ」をまとめる段階で何をどう書けばいいのか、基本事項の説明を必要とした。授業では、毎回読み聞かせをするようにしているが、今後は、その作品の内容をどれだけ把握しているかを知る必要がある。
- これからも、作者の経歴や他の作品に触れるなどの活動を通して、読書に親しみ、自ら公共図書館を活用するなど、今後の読書生活をより豊かにできる児童を育てていきたい。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

○『日本の童話名作選シリーズ』（偕成社）

- ・注文の多い料理店 ・なめとこ山の熊 ・虔十公園 ・やまなし ・双子の星
- ・よだかの星 ・どんぐりと山猫 ・猫の事務所 ・雪渡り ・水仙月の四日
- ・月夜のでんしんばしら ・セロ弾きのゴーシュ ・カイロ団長 ・オツベルと象
- ・おきなくさ・いちょうの実 ・鹿踊りのはじまり ・土神と狐 ・狼森と箕森、盗森

○『宮沢賢治絵童話集』（くもん出版）

○『セロ弾きのゴーシュ』（古今舎）


○『水仙月の四日』『雪渡り』『セロ弾きのゴーシュ』（福音館）

○『注文の多い料理店』『雪渡り』（福武書店）

○『注文の多い料理店』『どんぐりと山猫』（大日本図書）

○『銀河鉄道の夜』（パロル舎）

○『氷河ねずみの毛皮』（富山房）

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>題名</p> <p>文（ ）出版社（ ）</p> </div> <div style="text-align: right; border-top: 1px solid black; padding-top: 10px;"> <p>5年 組 氏名</p> </div>	<div style="border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【あらすじ】</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>おすすめのことば</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: 150px; height: 50px; margin-left: 10px;"></div> </div> </div>	

【作者宮沢賢治を紹介いたします！】



ワークシート裏 「宮沢賢治の生がいを調べよう！」



第5学年 道徳 学校図書館活用実践事例

指導者 大西 梓司（T1）竹村 留美子（T2）（香美市立山田小学校）

～学校図書館活用の視点～

- ・道徳の時間に図書館担当者が読み聞かせをしたり、展開の中で関わる場を設けたりすることで場面をより深く理解しようとする意欲を高める。
- ・学習したことから、読書の世界を広げようとする。

1 主題名 「寛容 2－（4）」

2 ねらい

司教の行いから、思いやりと謙虚な心をもって、人の気持ちや立場を重んじ、過ちを許そうとする心情を育てる。

3 資料名 銀の燭台

出典：ピクトル・ユゴー『ああ無情』 講談社、副読本：文溪堂

4 主題設定の理由

(1) 題材観

学習指導要領の第5学年及び第6学年の2－（4）は、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすることの心情や態度などを育てる内容項目である。

本作品は、ジャンの犯した罪の背後にある要因を読者に示し、読者に人間の弱さや人間社会の恐ろしさ、そして人間のすばらしさを感じさせる話である。また、「罪を憎んで人を憎まず」の精神が余すところなく発揮されており、相手の立場に立ちながら、自分のこれからの生き方を考えることのできる作品である。

自分は決して過ちをしないとと思っていると、寛容の心に欠けてくる。ただし、寛容は妥協や同情であってはならない。人間愛や自他の尊重の上に立った寛容でなければならない。

(2) 児童観

日々友だちとの関わりの中で、お互いのものの見方や考え方の違いが意識できるようになってきている。しかし、自分と違う意見や立場を素直に受け入れたり、広い心で受け止めたりすることができなくてトラブルになる場面が多々見られる。話し合いをしてその場を解決しようとする素直さを持っているが、同じような場面に出会った時に、その経験を生かした行動ができるまでにはまだ至っていない。この話に登場するミリエル司教の“何をも許す心”に児童は衝撃を受け、自分と違う立場や意見を受け入れるだけでなく、他人の過ちを許す人間愛に満ちた心や相手から学ぶような広い心について考えさせられるだろう。

(3) 指導観

児童の感動を高めるために、まずは十分に資料に浸ることができるようにしたい。そのために、図書館担当教員に資料の読み聞かせをしてもらう。いつもとはまた違った雰囲気の中で資料のもつ世界に入り込むことができるだろう。さらに登場人物などの絵を提示することで、場面をより深く理解するための手助けとしたい。

まず、自分が19年間刑務所に入れられていた人物であることを知りながらも、部屋のとなりに泊めてくれた司教ミリエルの大切な銀の食器を盗むという、考えられない罪の上乗せをしてしま

うジャンの心の弱さについて考えさせる。もちろん人の物を盗むことは決して許されないことだが、人間は「いけない」とは分かっている…という弱い心を持っているという点では、児童は共感ももつだろう。そのうえで、司教の“何をも許す広い心”に出会わせ、自分の経験なども想起させながら司教の言動について深く考えさせたい。「ミリエル司教は銀の食器やしょく台だけでなく、もっと大切な何かをジャンに渡したかったのではないか」と問われ、児童は、これまでの自分たちの経験からは簡単には表現できないようなミリエル司教の考え方や生き方について深く考えるだろう。大人でもとても真似できないような生き方であることも正直に伝え、ねらいに沿って児童同士の意見をつないで交流させ、児童と一緒に司教の生き方について考えていきたい。これまで出会ったことのないような人の生き方に触れ、児童の心が大きく揺さぶられることが期待できる。

児童の心に深く刻まれるだろう司教の“広い心”が、「ああ無情」を読んでもみようと思うきっかけになることも期待される。授業後すぐに図書館に向かう児童もいれば、ずっと後に思い出したように読んでもみようと思う児童もいるだろう。道徳的な価値について深く考え、個々の生涯の読書活動につながるきっかけになればと考える。

5 本時の学習

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 「ああ無情」について知る。 ○登場人物（ジャン・バル・ジャン、ミリエル司教、マグロワール、憲兵）を知る。	・登場人物やしょく台の絵を貼って、物語の場面のイメージをもちやすくさせるなど資料への導入を行う。
展 開	2 「銀のしょく台」の読み聞かせを聞いて、話し合う。 ①銀の食器を持って逃げながら、ジャンは何を考えていたでしょう。 ②銀の食器を盗まれたことを知った司教はどんなことを考えたでしょう。 ③司教が、ジャンに渡した銀のしょく台にはどんな気持ちが込められていたと思いますか。 3 この後のジャンの生き方を予想して、ワークシートに記入する。	・後のジャンの気持ちと対比させるためしっかりおさえさせる。 ・ねらい（相手の過ちに対して広い心で受け止める司教の心情を考えている）に沿って意見を交流させることができるように役割演技を行い、個々の意見を全体にしっかり広げて深めていく。
終 末	4 「ああ無情」の読み聞かせを聞く。	・書き込んだ後、「ああ無情」のその後の一場面を読み聞かせすることで、道徳的な価値について考えるとともに後の読書への意欲につなげる。

※準備物

- ・掲示物（登場人物の絵） しょく台の模型 ワークシート 図書『ああ無情』

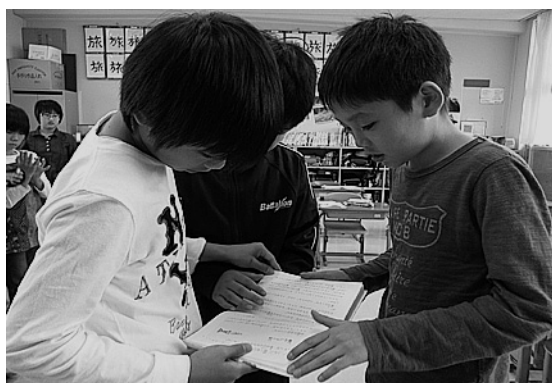
6 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

○児童自らが手にすることが少ない価値のある古典文学を、道徳の資料にすることで広がりのある読書指導につなぐことができた。また、授業後に4冊の表現の違う図書の紹介をしたことは、児童の読書意欲を高めることにつながったと思われる。

●授業後に、児童から学級新聞などに「ああ無情コーナー」の記事や「ああ無情新聞」を発行するなどの効果が出るとよい。

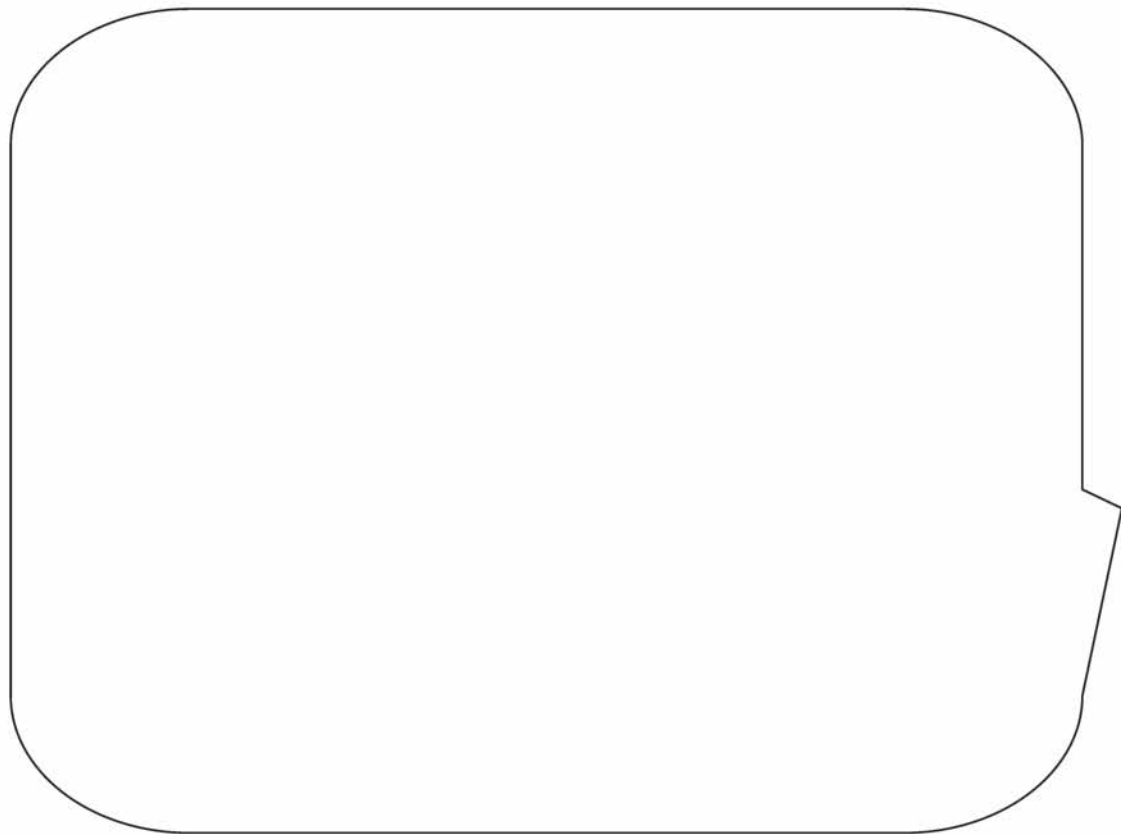
7 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『龍馬の夢』 (理論社)
 - ★『岩崎弥太郎』 (理論社)
 - ★『津波から人びとを救った稲むらの火』 (文溪堂)
 - ★『海をわたった折り鶴』 (小峰書店)
 - ★『おかあさん だいじょうぶ?』 (小学館)
 - ★『わたしたち手で話します』 (あかね書房)
 - 『レ・ミゼラブル』 (ポプラポケット文庫)
 - 『世界の名作図書館13 ああ無情』 (講談社)
 - 『ああ無情 こども世界名作童話28』 (ポプラ社)
 - 『ああ無情 少年少女世界の名作』 (世界文化社)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。



「銀のしょく台」ワークシート ()年

○この後のジャンの生き方を想像してみましょう。



○今日の学習でわかったことや心に残ったことを書き
ましょう。

Four horizontal lines for writing, consisting of a solid top line, two dashed middle lines, and a solid bottom line.

2 实践事例 (中学校)

第1学年 国語科（選択） 学校図書館活用実践事例

指導者 公文 伸子（高知市立城東中学校）

～学校図書館活用の視点～

本校では、入学当初に図書館オリエンテーションを行い、学校図書館の利用法を指導している。そのため本好きな生徒は、朝や昼休みの開館を心待ちにして毎日のように通ってきている。借り換えの方法や図書館内の本の配置についても認知度が高まってきており、興味・関心のある本を選び、読書を楽しむ態度は一定育ってきている。

しかし、学習指導の場面における本の活用能力は、これまであまり指導できずにきたため十分に身に付いているとはいえない。

過去の総合的な学習の時間における調べ学習の反省からも、学校図書館の仕組みや調べ学習の基礎知識を指導する必要性を感じている。

本単元では、生徒が本の仕組みを知り、百科事典や年鑑を実際に活用して調べ学習ができるようになることを目指すとともに、ワークシートに記述させることにより知識の確認を行うことにしている。こうしたことにより学校図書館という空間を活用した授業にしたい。

1 単元名 「調べ学習の基礎・基本」

2 単元について

『中学校学習指導要領 平成20年3月告示』第1学年「C 読むこと」には、「カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること」が指導事項の一つとして位置付けられている。

そして、『中学校学習指導要領解説 国語編 平成20年9月』には、「カ」の解説として、「小学校5学年及び第6学年の「イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」を受けて、読書とそれから得た情報を活用することについて示している。「本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け」とともに、身に付けた方法の中から適した方法を自ら選択し、目的に合った複数の資料を集め、集めた資料から「必要な情報を読み取ること」を求めている。「必要な情報を集めるための方法」とは、例えば、必要な情報があるかどうかを、本の表題や目次、索引等から判断したり、(後略)」と解説されている。

また、『平成21年度 全国学力・学習状況調査』のA問題の6では「目次を読む」という設問がなされており、『平成21年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校 国語』における6の解説には、「『読むこと』の指導に当たっては、目的に応じた多様な読み方を身に付けることが一層求められている。そのためには一冊の書籍や雑誌を教材とした指導も重要となってくる。例えば、目次は読みたい箇所を探すだけでなく、本そのものを選ぶための手がかりにもなる。目次以外にも、索引や奥付の機能について考え、それらの機能を必要に応じて活用する学習活動を展開することも大切である。」とされている。

そこで、小学校での既習事項ではあるが、日常的に活用ができていない実態がないため、中学校における「読書と情報活用についての指導事項」を充実させるための第一歩として、学校図書館を活用した「調べ学習の基礎・基本」を学ぶ単元を設定した。

3 単元の目標

本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・学校図書館の使い方に関心を持ち、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付けようとしている。	・百科事典、年鑑、奥付等を積極的に活用し、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取っている。	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。

5 単元の概要

時	学習内容	指導の工夫
1	○私たちの学校図書館	○利用時間や貸し出しの方法、利用するときのマナー、分類記号によって本が配置されていることなど、学校図書館利用のための知識を身に付けさせる。
2	○百科事典の使い方	○本のしくみ（部分の名称）や、掲載されているそれぞれの項目が、見出し語と解説文から成り立っていることを理解させる。 ○各巻に課題を設定し、調べた意味を発表させる。
3	○年鑑の使い方	○目次や索引を使って、探したい言葉を早く見付けられるようにさせる。統計資料がどこの調査によるものか、また、いつ調査されたものかを意識して調べさせる。
4	○奥付の書き方	○本で調べた情報を活用するために、本の奥付を理解させる。「きっとある キミの心に ひびく本」の中から選ばせて、奥付を書かせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [2 / 4 時間目]

百科事典を活用し、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・百科事典の引き方について関心を持ち、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付けようとしている。	・関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 百科事典とはどんな本か考える。 百科事典で調べることができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分が知りたいことの基礎知識が、百科事典で得られることを理解させる。 1巻・2巻…と分かれており、1セットで1冊であることを理解させる。 準備 百科事典1セット
展 開	2 百科事典の使い方を知る。 3 ワークシートの中から好きな語を選んで、百科事典で調べ、解説文を書き写す。 4 課題及び調べて分かった解説文を発表し、互いに聞き合う。	<ul style="list-style-type: none"> 百科事典の背、つめ、はしらの見方を理解させる。 各項目が、見出し語と解説文からなることを理解させる。 準備 ワークシート <ul style="list-style-type: none"> 書き写すときは、百科事典の題名や、巻数、ページ数を書くことを指示する。 解説文の中の、分かりにくい語を書き出させ、国語辞典で調べさせる。 準備 ワークシート 百科事典3セット 国語辞典30冊
終 末	5 学んだことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 百科事典を調べる手順を振り返らせる。 全員記入できたら、班ごとにワークシートを提出させる。

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

- 百科事典は、「様々な項目についての解説が掲載されている便利な本」だと理解できた。
- 図書資料を用いて分からないことを調べる学習を楽しむ生徒の姿が見られた。
- 調べたい語が重なったときなど生徒一人一人に図書が必要な場面があった。各自で調べ学習を進めることができるよう図書資料を十分に用意するようになる。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『調べ学習の基礎の基礎』 (ポプラ社)
- 『本で調べてほうこくしよう』 (ポプラ社)
- 『総合百科事典ポプラディア』 (ポプラ社)
- ※★印は、「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

選択基礎 国語 年()組()番 氏名()

☆ 百科事典 ワークシート

① 次のことばの中から、その巻にのっていることばを、百科事典で引いてみよう。

一本釣り 音さ 行司 砂州 自然薯 先勝 テディーベア
ノーサイド ブルドッグ マサイ族 竜神

調べたことば()

② 解説文を全部書き写そう。

書名『 () 』()巻、()ページ より

③ 写した中に、分かりにくいことばがあったら、書き出そう。

() () () ()
() () () ()

④ 国語辞典を引いて意味を書き出そう。

ことば()
意味()

ことば()
意味()

◇ヒント もし、探していることばが見つからなかったら、そのことばは組み合わせたことばかもしれない。例えば、「哺乳動物」なら「哺乳」と「動物」に分けて調べたら分かるかも。

選択基礎 国語 年()組()番 氏名()

☆ テーマ「本で調べて報告しよう～百科事典の使い方～」

① 図書館に行ったら、最初に百科事典を見ます。

② 百科事典は()の()の()が()本です。

③ 百科事典で、自分が調べたいことの()を手に入れるのです。

④ 百科事典はことばを()順にならべてあります。

⑤ まず、百科事典の()を見て、自分がさがしていることばが載っている巻をさがします。

⑥ この巻だ、と思ったら、反対側の色のマークを見ます。この色のマークのことを()といいます。

⑦ つめ、を見て見当をつけて開けたら()を見ます。

⑧ こうやって、百科事典は() () ()を見て探すと早く探せます。

⑨ 百科事典は見出し語があり、その下に解説文がついていて、そのことばの意味がよく分かるようになっています。

⑩ この見出し語と解説文をセットで項目といいます。

⑪ 百科事典の中を探すことを「百科事典を()く」といいます。

⑫ 自分の知りたいことを書き写したら、最後のところに百科事典の「題名」()巻 ()ページというのを必ず書いておきます。

◇来週は目次と索引を学習します。

第1学年 国語科 学校図書館活用実践事例

指導者 有田 久哉（土佐清水市立清水中学校）

～学校図書館活用の視点～

清水中学校をはじめ多くの学校図書館の活用法は、ややもすると読書指導の場としての活用のみで満足している傾向にありはしないだろうか。

図書館授業等の推進により調べ学習等にも目が向けられはじめてはいるものの、生徒は図書館を読書の活用の場としてのみの認識に終始しているように思われる。

生徒自身が疑問や各教科等における十分に理解していない内容を自ら解決する方策として、学校図書館を活用してもらえように取り組んでいきたい。

1 単元名 「読書を楽しもう」

2 単元について

「中学校学習指導要領解説 国語編 平成20年9月」（文部科学省）では、読書について「ここでいう『読書』とは、本を読むことに加え、新聞、雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する資料を読んだりすることを含んでいる。」と定義している。

そこで、本単元では、夏季休業前に、休業中の読書活動の充実につながることを意図し、事前に学習した読書教材に関連して、平和、戦争をモチーフとした図書への関心を広げたり、長編作品への挑戦を促したりする取組に加え、何かを調べるための問題解決スキルアップの一方策として学校図書館を活用する授業を仕組んだ。

このことにより、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を理解し、目的に応じて必要な情報を読み取る力を付け、学校図書館活用の幅を広げていきたい。

3 単元の目標

- (1) 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
- (2) 学校図書館や図書資料を利活用することによって、必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。	・選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げ、本を紹介している。 ・表題などを参考にして課題に沿った本を選び、目次や索引を活用し必要な情報を読み取っている。	・文章を読んで意味のわからない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。 ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○読んでみたい本を発表し合うなどして、読書への関心を高める。	○「きっとある キミの心に ひびく本」を活用し、戦争や平和に関わる本の紹介等を行う。
2	○本の紹介をするための方法を考え、対象となる本を選び、本の紹介の仕方に応じて文章を要約する。	○紹介したい本のキャッチコピーを考えさせたり、しおりを作ったりするなど、楽しんで取り組めるようにする。
3	○本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感するなど自分の考えを広げ本を紹介する。	○紹介されたどの本を読みたくなったかを発表させる。
4	○調べ学習のルールを確認し、ワークシートに沿って、学校図書館の本を使って、課題を解決する。	○課題に応じた本を準備し、学校図書館には、課題を解決するためのさまざまな種類の本があることに気付かせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [4 / 4 時間目]

学校図書館や図書資料を利活用することによって、必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。

(2) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読 む 能 力	言語についての知識・理解・技能
・課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。	・表題などを参考にして課題に沿った本を選び、目次や索引を活用し必要な情報を読み取っている。	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 ワークシートの解答方法について確認する。 あなたの知らない 学校図書館の世界！？ ～どの本で調べればいいのか？～	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習のルールを説明する。 ◇ワークシートの問題は図書館の図書資料で解決すること。 ◇問題は一人、あるいは二人一組で解くこと。 ◇参考となる図書を先生に尋ねてもよいこと。

展 開	2 学校図書館の図書資料を利用してワークシートの問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> 問題の解けていない生徒への助言を行う。 ◇生徒相互の情報交換をすること。 ◇図書資料の目次や索引を活用すること。 <p>使用が予想される図書資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語辞典・漢和辞典・英和辞典・国語便覧・歳時記・スポーツ年鑑・ジュニア年鑑・世界の美術・ポプラディア・日本の地理・方言辞典等・「きっとある キミの心に ひびく本」に載せられている本・人名辞典など
	3 図書資料から分かったことをワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 問題に取り組む中で、調べ学習への気付きがあればメモすることを促す。
終 末	4 生徒発表による答え合わせを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 解決のための参考資料を交流させる。 (生徒発表) 生徒手作りの葉を準備し、正答率の高い生徒に配付することで生徒への励ましとする。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 生徒が個人又はペアになって、指導者の助言を基に、それぞれの問題解決法を探ることができており、必要な情報を読み取る作業ができていた。
- 本時の学習を通じて、生徒自身が普段の学校生活でほとんど触れることのなかった図書と出会わせることができ、それぞれの図書の利用価値やその利用方法について学ぶことができた。
- 学校図書館や図書資料活用の授業については、全校での取組がまだ十分ではないので、各教科や領域の学習の中で、本時と同様の学習方法を各教科でアレンジして行ったり、図書資料を活用する授業を工夫したりするように今後取り組んでいく。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『流れる星は生きている』 (中公文庫)
- 『新明解国語辞典』 (三省社)
- 『標準英和辞典』 (旺文社)
- 『オーロラ英和辞典』 (旺文社)
- 『国語便覧』 (浜島書店)
- 『2011スポーツ年鑑』 (ポプラ社)
- 『俳句月別歳時記』 (博友社)
- 『2011学習年鑑』 (朝日新聞出版)
- 『日本の地理』 (旺文社)
- 『総合百科事典ポプラディア』 (ポプラ社)
- 『百科辞典』 (学習研究社・平凡社)

- 『現代美術全集』 (集英社)
 - 『方言辞典』 (東京堂出版)
 - 『土佐弁ルネサンスー土佐ことば辞典』 (高知県文化環境政策課)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (中学生版)」に掲載しています。

<ワークシート>

どの本で調べればいいのか？

図書館の資料を使って、次の問題を調べてみよう！ () には答えを、< > には参考図書を書いてください。

問1 「三ヶ月」の真ん中にある「ヶ」は何？ カタカナ、記号、それとも？
() < >

問2 啄木の短歌に「不来方 (こずかた) の お城の草に 寝ころびて 空に吸われし () の心」というのがありますが、() の中には数字がはいります。その数字とは？
() < >

問3 2010年の全国高校駅伝大会の男子優勝校はどこ？
() < >

問4 FORGET-ME-NOTって何？
() < >

問5 俳句には季語が必要ですが、「小春日和 (こはるびより)」の季節は？
() < >

問6 高知県の面積は何km²？
() < >

問7 ピカソの描いた絵で、1937年無差別攻撃を受けたスペインのある都市の名前が付いた有名な絵は何？
() < >

問8 「流れる星は生きている」の作者は「藤原てい」ですが、夫は誰？
() < >

問9 高知県方言の「ばばいい」は、どんな意味？
() < >

問10 グロチウスは「〇〇法の父」と呼ばれますが、何法？
() < >

第1学年 社会科 学校図書館活用実践事例

指導者 落合 裕太（T1）中越 美智子（T2）（いの町立伊野中学校）

～学校図書館活用の視点～

これまで社会科の授業では、地理的分野の学習において、図書館の本を活用した調べ学習を行ってきた。調べる観点やテーマについては、指導者が設定し、生徒それぞれが図書を選択し活用する手立てを講じている。

本単元では、歴史的分野の学習において、図書資料を有効活用すべく、テーマ設定を具体化することで、生徒一人一人が自分で考えて調べ学習を進めていく。情報を的確に探して選び、まとめていくことを身に付け、課題に即応した調べる能力の育成を目指す。

1 単元名 「文明のおこりと日本の成り立ち」

2 単元について

本単元では、人類の出現から、世界の古代文明がおこり国家が形成されていく世界の動きを背景に、わが国ではいかに国家が形成されていったかを学習する。その際に、東アジアの文明との深い関わり、農耕の広がりによる生活の変化、文化の発展などに留意する必要がある。

また、1年生にとって、中学校の歴史学習の導入にあたる。小学校での学習を踏まえて、①「時代の区分やその移り変わり」に気付かせること、②歴史的事象の意味・意義や特色を考えさせることができるように、扱う内容や資料、活動の仕方を工夫したい。

3 単元の目標

人類の出現から世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における生活の変化、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどを通して、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・古代までの歴史的 事象に対する関心を高 め、意欲的に追究し、 古代までの文化遺産 を尊重しようとする。	・世界の古代文明や宗 教のおこり、日本列 島における農耕の広 まりと生活の変化や 当時の人々の信仰、 大和朝廷による統一 と東アジアとの関わ りなどについて多面 的・多角的に考察し、 その過程や結果を適 切に表現している。	・世界の古代文明や宗教 のおこり、日本列島に おける農耕の広まりと 生活の変化や当時の人々 の信仰、大和朝廷によ る統一と東アジアとの 関わりなどに関するさ まざまな資料を収集し、 有用な情報を適切に選 択して、読み取ったり 図表などにまとめたり している。	・人類の出現より世界 の各地で文明が築か れ、東アジアの文明 の影響を受けながら 我が国で国家が形成 されていったことを 理解し、その知識を 身に付けている。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	○人類の出現と日本列島の成立	○歴史学習の導入につき、歴史の長さをイメージしやすいように、小学校での学習や、P 5の「歴史の流れ」のイラスト、P 13の「とびら」などを活用し、古代について生徒がもっている時代のイメージを表現させる。 ○図像資料を用いて、サルと人類の違いを考察させる。
2 ・ 3	○文明の発生と東アジア世界	○世界各地で起きた古代文明について、図書資料を用いて調べ、諸文明の発生と、その特色をまとめさせる。 ○前時にまとめたレポートを発表し合い、共通点について気付かせる。 ○中国の古代文明に焦点を当てることにより、わが国への影響を考えさせる。
4 ・ 5	○縄文文化と弥生文化	○小学校で学習した知識を更に具体化するため、さまざまな資料に触れながら学習させる。 ○縄文と弥生の文化の違いを比較し、日本列島における農耕の広がりによる生活の変化を理解させる。 ○いの町にある縄文・弥生遺跡に触れ、考古学を身近なものとして捉えさせる。
6	○国々の誕生と古墳文化	○さまざまな資料を基に、わが国における国々がいかに成立したのかを考察させる。 ○邪馬台国論争を取り上げ、資料を基に考察し、議論できるようにさせる。
7	○大王の時代	○日本と中国・朝鮮との交流をさまざまな資料を通して理解させる。 ○大陸から移住してきた人々が日本の社会に果たした役割について考えさせる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [2 / 7 時間目]

図書資料を用いて世界の古代文明を調べ、諸文明の成立時期や場所、特色をまとめるなかで、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などに気付かせ、文明の発生に対する知識を深める。

(2) 本時の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	資料活用の技能
・世界の古代文明について関心を高め、提示される課題に対して、意欲的に取り組み、古代までの特色を捉えようとする。	・世界の古代文明に関する図書資料から、調査シートに沿って情報を収集し、有用な情報を適切に選択して、図などにまとめている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 ヒエログリフや青銅器など図像資料を見ながら、なぜ文明がおこったのかを考える。 文明はいつ、どこで生まれたのか？	・図書資料の写真を拡大し提示する。
展 開	2 班ごとに調べる文明を一つ選び、前時に生徒から挙げられた文明に関する以下の調査項目を班内で分担しながら、図書館の本を使ってそれぞれ調べる。 〔 ・文字 ・道具 ・遺跡 ・その他装飾品など 〕 3 本で調べたことを基に、文明のおきた年代、場所を明確にし、それぞれの調査項目について図と文章でまとめる。	・世界でおきた古代文明を提示し、それぞれ班で調べる文明を選択させる。調査シートに基づき、調べる内容を説明する。 ・全員が取り組めるようにするため、1班に3～4冊の本を用意する。 テーマに対応する図書資料を県立・町立図書館などからも準備し紹介するようにする。 ・調べた本の出典を明らかにするようにさせる。 ・2冊以上の本から情報を得るようにさせる。 ・文明が生まれた背景も考えながら、調べることができるように促す。
終 末	4 レポートを各自それぞれ完成させる。 5 それぞれの文明がいつどこで生まれたのかを各班発表し、本時の取組をまとめる。	・机間指導しながら、次時にはそれぞれ調べた内容を発表できるように、完成を目指す。 ・本時における各班の発表は、文明の発生時期と場所のみに留め、詳しい内容は次時の発表につなげる。

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

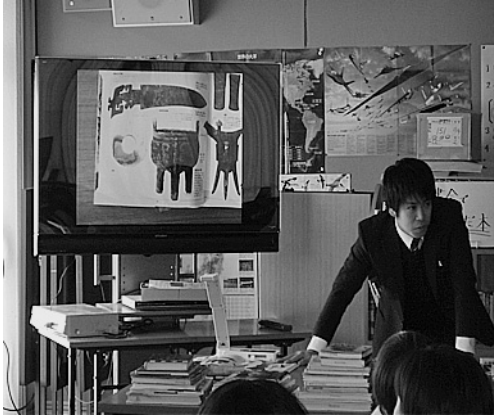
- 自分で決めたテーマに沿って調べ学習を進めることで、意欲をもって取り組むことができた。
- 図書資料から、古代文明の特色についてより詳しく調べることができ、理解が深まった。
- 自分の調べたいテーマを思い付かなかったり、適切な図書を選べなかつたりした生徒がいた。事前に生徒が文明について関心のある事柄を詳しく分析し、図書館担当と確認するようにする。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『お父さんが教える自由研究の書きかた』 (自由国民社)
- ★『図説 世界の七不思議』 (東京書籍)
- 『世界の大遺跡④メソポタミアとペルシア』『世界の大遺跡②ナイルの王墓と神殿』
- 『世界の大遺跡⑧インドの聖域』『世界の大遺跡⑨古代中国の遺産』 (講談社)
- 『目で見える世界の古代文明シリーズ1 古代エジプト文明』 (佑学社)
- 『目で見える世界の古代文明シリーズ4 中国文明』 (佑学社)
- 『「知」のビジュアル百科～文字と書の歴史～』 (あすなる書房)

- 『「知」のビジュアル百科～古代エジプト入門～』 (あすなる書房)
 - 『教えて！イラク戦争と今むかし②イラクの歴史』 (汐文社)
 - 『ビジュアルディクショナリー―古代文明』 (同朋舎出版)
 - 『世界の碑文』 (東洋書林)
 - 『総合百科事典ポプラディア』 (ポプラ社)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (中学生版)」に掲載しています。

<授業風景>



<ワークシート>

<p>古代文明調査シート</p> <p style="text-align: center;">◎ 古代文明はいつ、どこで生まれたのか？また、どのような特色があるのか？ 本を使って調べてみよう！！</p> <p>文明の名称 _____ 文明</p> <p>年代 _____ 年頃</p> <p>場所 _____</p> <p>調査項目 [文字 道具 遺跡 その他装飾品など]</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">特色</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	<p>組 名 前 _____</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;">世 界 白 地 図</div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※文明が生まれた場所に赤く印をつけよう。</p>
<p>出典 調べた本のタイトル _____ 著者、出版社 _____ 出版年 _____ 年</p>	

第1学年 社会科 学校図書館活用実践事例

指導者 陰山 陽一（T1）町田 恵（T2）（黒潮町立大方中学校）

～学校図書館活用の視点～

本校の学校図書館経営目標の一つは、『学ぶ目的や意義を理解し自ら学ぶ意欲と力をもった生徒の育成を目指す』である。学校図書館を学習・情報センターとして活用するために、昨年度から調べ学習室の整備も進め、授業の調べ学習などで使える本のリスト作りや本の購入を実施してきた。昨年度は、図書館の本を活用し社会科や理科の授業で調べ学習を行ってきた。調べることの課題やテーマ、観点を指導者が設定し、生徒が図書の本を活用し主体的に学習する手立てを講じてきた。

各教科の年間計画に図書館を利用した授業を取り入れ、課題やテーマの設定や調べ学習のために図書の本をどのように活用するか、また、調べ学習を通して情報を収集・処理し、まとめ、発表できる能力を育成し言語活動の充実を図っていききたい。

1 単元名 「人類の出現と古代文明」

2 単元について

平成24年度から全面実施となる『中学校学習指導要領』（平成20年3月）が告示されるにあたって、中央教育審議会は、平成20年1月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」答申した。その中で、「改善の具体的事項」として、「（イ）歴史的分野については、我が国の歴史の大きな流れを理解させ、歴史について考察する力や説明する力を育てるため、各時代の特色や時代の転換に関わる基本的な内容の定着を図り、課題追求的な学習を重視して改善を図る。（後略）」ことを挙げている。また、学習指導要領改訂の基本的な考え方として、思考力・判断力・表現力等の育成の重要性についても述べている。

そこで、本単元では、既習した「原始・古代の日本と世界」のなかから①旧石器時代、②新石器時代、③東アジアの古代文明、④縄文時代、⑤弥生時代、⑥大和政権をもう一度振り返り、更に内容を深めていくために図書資料を活用して、その時代を大観し、表現する活動を通して各時代の特色を捉えさせたい。そして、主に班学習を活用し、テーマの選択・設定から調べ学習に必要な図書の選択、まとめ、発表までの一連の活動を通して、課題追究的な学習を仕組み、中学校社会科の改訂にあたっての基本的な方針の一つである言語活動の充実にもつなげていきたい。

3 単元の目標

人類の出現から世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における生活の変化、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどを通して、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 古代までの歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、古代までの文化遺産を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどに関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	<ul style="list-style-type: none"> ○各班で6つのテーマ①「旧石器時代」、②「新石器時代」、③「東アジアの古代文明」、④「縄文時代」、⑤「弥生時代」、⑥「大和政権」を選択し、学習内容をまとめ、発表に向けての役割分担をする。 ○調べ学習に適切な図書の本を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各班でテーマを選択、設定しまとめ、発表に向けての計画、役割分担を話し合わせる。 ○図書館担当者に調べ学習に関連する図書を紹介推薦してもらい、適切な図書を選択できるように話し合わせる。
2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> ○選択したテーマに基づき、図書の本や資料を利用して模造紙に工夫して分かりやすくまとめる。 ○まとめたことを発表するための準備、役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書の本を使って調べ学習する時の著作権等に関する注意事項やルールを理解させる。 ○図書資料を使い、各班で工夫して選択したテーマについての調べ学習を行い、その時代の区分や移り変わりに気付かせる。 ○調べ学習によってまとめたことを、相手に分かりやすく発表できるように発表方法や役割分担を話し合わせ、準備させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○役割分担を明確にし、各班で調べ、まとめたことを分かりやすく発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表会の進め方やルール等を自分たちで確認し、全員が参加でき、評価できるようにする。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [2 / 4 時間目]

各班で選択したテーマに沿って、今までの学習内容を図書の本を活用して更に詳しく調べ、協力して模造紙に分かりやすく工夫してまとめる。

(2) 本時の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	資料活用の技能
<ul style="list-style-type: none"> 各時代の特色に対する関心を高め、各時代の特色を意欲的に調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどに関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表にまとめたりしている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 各班で選択した調べ学習のテーマを再確認し、既習内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 各班で決めたテーマを基に、学習した内容を再確認させる。
展 開	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 図書の本を授業に活用しよう！ ～学習したことをまとめよう～ </div> 2 各班で選択したテーマについて、図書の本を使って調べ、必要な資料や情報を収集する。 3 収集した内容を整理し、模造紙に工夫して分かりやすくまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 図書の本を使って調べ学習をする時の著作権等についての確認事項やルールを図書館担当者に説明してもらう。 各班で、調べ学習で活用する図書を確認し、全体に紹介させる。 図書の本や資料を活用し、必要な情報を収集整理し、まとめさせる。 レイアウトや色づかいを工夫させる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 図書資料 総合百科事典ポプラディア（ポプラ社） 朝日百科 日本の歴史（朝日新聞） 原色学習ワイド図鑑（学研） 等 </div>
終 末	4 本時の学習内容を振り返り、評価を行う。次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすく発表できるようにまとめ方等を工夫させる。 本時の評価と次時の学習内容を確認させる。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 生徒たちが、既習内容から設定したテーマを選択し、各班で全員が協力し、役割分担もしっかりでき、討議、まとめ、発表が意欲的にできていた。
- 図書の本を活用した調べ学習が体験でき、学校図書館に対する意識も高まってきた。
- 学校図書館にある本や資料は古いものが多く、数も少ないので地元や近隣の図書館から、活用できる本をたくさん借りてきて、各班で6～7冊ずつ資料の本が使えるようにする必要があった。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- 『総合百科事典 ポプラディア』 (ポプラ社)
- 『日本全史 ジャパン・クロック』 (講談社)
- 『新教科書に出てくる 42人の人物と日本の歴史 ①』 (学習研究社)
- 『NHK 日本人はるかな旅 ③④⑤』 (あかね書房)
- 『歴史アルバム 時代をきめた114のできごと
1 原始・大和・奈良時代』 (PHP研究所)
- 『朝日百科 日本の歴史 1 原始・古代』 (朝日新聞)
- 『朝日百科 日本の歴史 2 古代』 (朝日新聞)
- 『歴史おもしろ新聞 1』 (ポプラ社)
- 『古代日本の発掘発見物語 14』 (国土社)
- 『原色学習ワイド図鑑 17 日本・世界の歴史 1』 (学習研究社)
- 『マンガ日本の歴史』 (小学館)
- 『ジュニア日本の歴史辞典』 (岩崎書店)
- 『ジュニア版日本の歴史 日本のなりたち 第1巻』 (読売新聞社)
- 『日本の遺跡と遺産 1』 (岩崎書店)
- 『古代日本の大常識』 (ポプラ社)
- 『縄文人のくらし 1』 (学習研究社)
- 『縄文人のくらし 2』 (学習研究社)
- 『縄文人のくらし 3』 (学習研究社)
- 『縄文人のくらし 6』 (学習研究社)
- 『縄文人の知恵にいどむ』 (筑摩書房)
- 『教科書に出てくる歴史ビジュアル実物大図鑑』 (ポプラ社)
- 『日本の遺跡と遺産』 (岩崎書店)
- 『教科書の絵と写真で見る日本の歴史資料集』 (岩崎書店)
- 『日本の歴史博物館・史跡』 (あかね書房)
- 『ジュニア版日本の歴史 第1巻』 (読売新聞社)
- 『絵でわかる社会科事典 2』 (学研教育出版)
- 『古代日本の大常識』 (ポプラ社)
- 『卑弥呼 なぞの国、なぞの女王』 (理論社)

第1学年 美術科 学校図書館活用実践事例

指導者 西尾 治 (T1) 弘瀬 麻弥 (T2) (佐川町立佐川中学校)

～学校図書館活用の視点～

読書によって得た感動を絵画表現することを通して、読書力、表現力を養うことを目的として生徒たちに「読書感想画」を描かせる。美術の授業の一環として「読書感想画を描く」ことは、美術科の発展的な取組になるのではないだろうか。生徒の読む力や考える力を高めることがこれからの学校教育の課題となっているだけに、この取組を推進するきっかけとしたい。

まず、図書時間を設定し、いろいろな本の紹介をし、読書指導を行う。本時では、「きり絵」の技法を学んだうえで、本を読んで感じたこと、想像したこと、考えたこと、感動したことを一枚の「絵」に仕上げさせる。また、自分の読書について発表したり話し合ったりする場面をつくり思考力を育てたい。教師がその都度適切なアドバイスをし、生徒が自分のイメージを具現化することに喜びを見いだせるよう表現活動に臨ませたい。

1 単元名 「物語のイメージを切り絵で表現する」

2 単元について

子どもたちに自由に絵を描かせると画一的で図式的なイメージの画面になりやすい。主な要因は表現技術の不足であるが、ふだんの生活の中で、漫画やテレビなどから得られたイメージをなぞることに慣れて、自己の独自のイメージをもつことが苦手になっている生徒が多いのではないだろうか。

本を読み、その行間に自由な想像をはさみ、あるいは視点を変え、生活体験も想起させ、物語のイメージを広げさせたい。切り絵の技法を示すことで描画が苦手な生徒も表現の方向が定まり、自分の想像する情景や心情を形にしやすくなるであろう。自分のイメージを具現化することに喜びを見出せるよう教師はその都度適切なアドバイスをしながら表現活動に臨ませたい。

本学級の生徒は技術面や発想の広がりには十分と言えないが、落ち着いて話が聞け、与えられた課題に真面目に取り組もうとできる。比較的容易な線描で画面構成をさせ、切り絵の表現につなげ、失敗を恐れず大胆に発想させるとともに丁寧に制作させたい。

3 単元の目標

- (1) 本を読んで感じたこと、想像したこと等からイメージを広げる。
- (2) 材料や用具を適切に使い、見通しをもって表現する。

4 単元の評価規準

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・物語を読み、想像したことを切り絵の技法で表現することの喜びを味わい、また、表現する能力を身に付けるために主体的に学習に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、物語を読んで感じ取ったことや考えたことを、形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	・感性や造形感覚などを働かせて、色や色彩などの表し方を身に付け、切り絵の技法を生かして、制作の順序などを考え創造的な構成を工夫し、創意工夫して表している。	・感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、ものの見方を広げたり読書のよさに気付いたりしている。

5 単元の概要（全11時間）

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1 ・ 2	○切り絵の技法を学ぶ。	○道具の扱い方、手順についての確認をする。 ○小作品を使って切り絵の技法を体験的に習得させる。
3	○これまで読んだ本の中から印象に残ったものを選び、感想を絵（ラフスケッチ）に表してみる。	○美術室と図書室の両方の教室を利用させる。 ○ワークシートを使って感想画のラフスケッチを作成できるよう具体的に話しかける。 <視点> ・あらすじを思い浮かべる。 ・行間を読み取る。 ・読んだ後に自分の脳裏に浮かんだ場面を描く。
4 ・ 5	○参考作品を鑑賞し、ラフスケッチをもとに、より細かく構想を立てる。 (アイデアスケッチ → 下書き)	○教材提示装置や書画カメラを活用し、参考作品を提示する。 ○画面の分割や描線の太さなど個別にアドバイスする。
6 ・ 7	○制作する。(前半)	○教材提示装置や書画カメラを活用し、画面の工夫をしている生徒作品を提示する。 ○個別にアドバイスする。
8	○背景に応用できるさまざまな表現技法を学ぶ。	○スパッタリングやデカルコマニーなどのさまざまな表現技法を紹介・指導する。
9 ・ 10	○制作する。(後半)	○教材提示装置や書画カメラを活用し、画面の工夫をしている生徒作品を提示する。 ○個別にアドバイスする。
11	○作品鑑賞とまとめ。自分の作品と級友の作品を鑑賞する。いろいろな発想や表現があることを知り、自分の見方や捉え方を広げる。	○自分の言葉で自分の描いた作品、表現意図や工夫を紹介させる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [3 / 11時間目]

- ・「読書感想画」の構想を立てる。
- ・本を読んで感じたこと、想像したこと等からイメージを広げる。

(2) 本時の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力
・本を読んで感じたことや想像したことなどを表現することに関心をもち、主体的に主題を生み出そうとしている。	・イメージを膨らませて、想像したことなどをもとに全体と部分との関係などを考え、形や色彩の効果を生かして、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 人物クロッキーをする。 2 留意点を聞く。 3 本時の活動を知る。 4 生徒作品を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 対象をよく見て全体を捉えるように意識させる。 本時の目標と活動内容を示す。 校内「ショートコメントコンテスト」優秀作品の文章と絵を紹介する。 (『土佐電鉄が走る街 今昔 現役最古の路面電車 定点对比50年』)
物語のイメージを切り絵で表現する		
展 開	5 構想を立てアイデアを練る。 (アイデアスケッチ) 7 選書に迷いのある生徒は図書室へ移動する。 8 自分の選んだ本について発表し意見を出し合う。 9 イメージを具体化するために画面を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組めるよう個々の状況を確認する。 肯定的な言葉がけで意欲を喚起するよう机間指導する。アイデアを紹介する。 積極的にイメージを具体化できるように助言する。 発表のポイントを正しく伝えることができるように助言する。
終 末	10 片付ける。 11 振り返りシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りと次時の予告をする。

※ 準備

- ◇ 教師：四つ切り画用紙、参考作品、生徒作品、B4上質紙
生徒：読書画ワークシート、スケッチブック、ネームペン

7 成果と課題改善について (○は成果、●は課題)

- このコラボ授業は「読書感想画コンクール」への出品につなげる意味でもよい機会であった。今まで美術科と図書館教育推進教諭との連携した取組がなかったので、このつながりこそ一つの成果であったと思われる。これを機にふだんの読書活動でも心情・情景図を簡単に描かせる機会を図書委員会活動等で設定していきたい。
- 読書を推進するためには、いいきっかけだったように思う。導入部分で肯定的評価が多く、やる気を起こさせている。全体的には静かに落ち着いて自分の課題がこなせていた。
- 生徒一人一人がじっくり考えながら取り組んでいたと思う。また、先生が生徒一人一人の疑問や悩みに応じてアドバイスできていた。
- 教育課程の中で各学年の美術の時間数が限られているので、その中にこうした取り組みを仕組んでいくには年間を通した計画が必要だと考える。そのうえで、授業内容や準備などを打ち合わせる時間の確保が難しい現状も課題である。来年度の年間教育計画を見直す際に再度、教科・領域全般と図書館教育との関連を提案したい。
- 本を読む、イメージする、イメージ画に挑戦するという一連の流れをイメージするのも、描くの

も時間がかかるので、ここまでを前時にしておいて、公開授業としては、次の時間がよかったという意見があった。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

★『土佐電鉄が走る街 今昔 現役最古の路面電車 定点对比50年』

(JTBパブリッシング)

★『四万十川の魚図鑑 Fish guide of Shimanto-gawa』

(いかだ社)

★『タバコ』

(大月書店)

★『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』

(集英社)

○『学校図書館入門シリーズ11 はじめよう 読書感想画の実践』

(全国S L A)

○『切り絵のこころ 一切り絵・見物東京百景/切り絵教室』

(M P C)

○『平成23年度 読書感想画カレンダー』

(第22回読書感想画中央コンクール <小学校・中学校・高等学校>優秀作品)

○『自転車冒険記：12歳の助走』

(河出書房新社)

○『ピエタ』

(ポプラ社)

○『ほこりまみれの兄弟』

(評論社)

○『チョッキー』

(あすなる書房)

○『紅茶が動かした世界の話』

(国土社)

※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (中学生版)」に掲載しています。



第1学年 英語科 学校図書館活用実践事例

指導者 大谷 富美子 (T1) Jacob Fund (T2) 岡村 裕子 (T3) (香南市立赤岡中学校)

～学校図書館活用の視点～

中学1年生の1学期、英語は生徒にとって興味関心が高く、意欲をもって取り組める教科である。小学校では外国語活動でALTとも触れ合い、簡単な英語を使ってコミュニケーションを図る活動にも親しんできており、ALTの入る授業も楽しみにしている。

この環境を生かし、学習への期待感を高め、中学校英語の広がりを示す手立てとして、本を活用したい。

紹介する際には大型テレビを活用し、提示する本が全員に見えるように工夫する。

1 単元名 「Unit 2」

2 単元について

Unit 1からの場面の流れが自然であることと、This [That] is... の理解と練習に適合するところから、到達目標と学習内容を設定した。I see. やHi. も早期に導入できる。

また、「まとめと練習1」、「単語や文の書き方」、「数字」の題材が組み立てられており、言語材料の理解や練習・定着の活動が実践できる。

3 単元の目標

- (1) ALTの話や絵本の読み聞かせの内容を正しく聞き取る。
- (2) be動詞を用いた文の構造を理解する。
- (3) ペアワークやグループワークなどにおいて、積極的にコミュニケーションをとろうとする。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・ペアワークやグループワークなどにおいて、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。		・ALTの話や絵本の読み聞かせの内容を正しく聞き取ることができる。	・be動詞を用いた文の構造について理解している。

5 単元の概要

時	学習内容	指導の工夫
1	○This [That] is...の文の形・意味・用法を理解する。	○校内を案内する場面を想定して表現させる。
2	○Is this [that]...? の文と応答の形・意味・用法を理解する。	○市内の建物などについて、質問する場面を想定して表現させる。

3	○He [She] is… の文の形・意味・用法を理解する。	○学級の仲間を紹介する場面を仕組み表現させる。
4	○be動詞について復習し、理解を確かめる。	○既習事項を想起し、日常の生活の話題を活用する。
5	○人名や地名を大文字で書き、文字や符号を正しく使って、文を書く。	○道路標識や地図等の図書も活用し、理解を助けるようにする。
6	○A L Tの話や絵本の読み聞かせの内容を正しく聞き取る。 ○100までの数字の言い方を理解する。	○図書資料を拡大掲示するなど視聴覚機器を効果的に用い、興味をもてるよう図書資料を活用する。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [6 / 6 時間目]

- ・ A L Tの話や絵本の読み聞かせの内容を正しく聞き取る。
- ・ 100までの数字の言い方を理解する。

(2) 本時の評価規準

外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・ A L Tの話や絵本の読み聞かせの内容を正しく聞き取ることができる。	・ 100までの数字の言い方を理解している。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	1 挨拶 ・ 全体で挨拶をした後、簡単な会話を行う。 2 単語テスト	・ 学習する雰囲気づくりをする。
展 開	3 絵本の読み聞かせ ・ A L Tによる英語の絵本の読み聞かせを大画面テレビを見ながら聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚教材を効果的に用い、英語に親しみ、興味をもてるよう図書資料を活用する。 ・ 興味をもって、英語を聞き、内容を理解しようとしているかを見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 図書資料 『Dr. Seuss's ABC』(Random House Books for Young Readers) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司書教諭より図書館の活用についての話をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 図書資料 『Peach Boy Taro』(金の星社) 『Momotaro, The Peach Boy』(学習研究社) </div>

展 開	4 教材を見ながら、数字を言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ A L T の後について数字の発音練習をさせる。 ・ 声を出し発音しようとしているかを見る。 ・ 年齢の言い方を確認させる。 ・ 真剣に聞き、表現しようとしているかを見る。 ・ 数字の言い方を理解しているかを見る。
	5 年齢を言う <ul style="list-style-type: none"> ・ A L T の英語を聞き、意味を考える。 ・ 写真を見ながら、年齢を言う。 ・ 数字ビンゴをする。 	
終 末	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の時間の予告

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 英語の授業で図書館を活用するという設定においては、A L T の絵本の読み聞かせや英語版『桃太郎』を紹介するという新しい発想と方法で実践できた。時期的にも1年生には図書館オリエンテーション後で、教科での活用の一つの提案としてタイミングがよかった。
- A L T が絵本を読み聞かせるのは初めての試みであったが、J T E（日本人英語教員）が補足した絵本の説明が適切で生徒の理解を助け、ねらいに迫れた。
- A L T が数字に関する英語の絵本を読み聞かせたことに合わせて、推進教諭が、学校図書館にある英語版の絵本をタイミングよく紹介した。2冊の英語版『桃太郎』の紹介をすることで、日本の昔話が英語の絵本になっていることの紹介や本に関する比較の考え方の示唆になる等、生徒の視野を広げ学校図書館の利活用につながると思われる内容となり効果的だった。
- 英語に苦手意識をもっている生徒の顔が授業時に上がっており、いつもより興味をもって取り組んでいる様子うかがえて、図書館資料の活用によって子どもたちの興味・関心が高まることが分かった。
- 学校図書館や図書資料は、授業の中の部分的な活用でも効果があり、今後も気軽に取組ができることを確認できた。
- A L T が読み聞かせる絵本を見やすく提示するために、デジタルカメラを大型テレビにつなげ画像で映し出したが、画像が定まらず読みにくく見にくい状況になり工夫が必要だった。別の方法として、教材提示装置の使用や、絵本をスキャンしてP Cに取り込み提示する方法があることが分かった。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- 『Dr. Seuss's ABC』（Random House Books for Young Readers）
- 『Peach Boy Taro』（金の星社）
- 『Momotaro, The Peach Boy』（学習研究社）



授業風景



第2学年 総合的な学習の時間 学校図書館活用実践事例

指導者 西村 卓男（高知市立潮江中学校）

～学校図書館活用の視点～

本校では、全校をあげて防災学習に取り組んでいるところである。将来必ず来る南海地震に備えた防災学習は、必要不可欠であると考え。地震について理解を深め、いざというときに自ら判断し、自ら行動できる生徒を育てていくためには、知識を身に付けると同時に防災への意識を高めることが大切である。図書館教育における研究主題の一つとして、「防災教育の推進」をあげた。過去の地震についての調べ学習や地域の防災マップづくりなど、様々な資料を活用しながら学習を進めている。学校図書館として、多面的な学習を支える資料提供をしていくことが必要であると考え。

1 単元名 「自分の大切にしたい生き方を考えよう」

2 単元について

主教材「稲むらの火」は伝記である。伝記は、偉大な人物の業績を取り上げていることが多く、子どもたちの日常生活からかけ離れていることが多い。しかも、歴史的な背景についての理解も必要となるため、自分のことと重ね合わせることが難しい面もある。

しかし、2011年3月11日に起こった東日本大震災では、身近なところで大きな被害がもたらされたため、子どもたちも大きな関心を寄せており、本教材で取り上げている大地震と大津波による災害の悲劇やそこからの復興について、容易に重ねて考えることができるであろう。そして、主人公の儀兵衛の考え方や言動からは、決断力、勇気、意思の強さ、行動力など子ども一人一人が、様々な人間的魅力を感じることができると考える。このような事実に基づいた伝記を読むことで、子どもたちはこれからの生き方について考える機会となり、今後起こるであろう南海地震に対しても、いざというときに自ら判断し、自ら行動できる力につながるものと考え。

3 単元の目標

- (1) 過去の南海地震を生き抜いた人々のことを知り、その行動や思いを考えることによって、自身自身の生き方を考える。
- (2) 防災についての理解を深め、実際にどのような準備や備えをする必要があるかを考え、今後の生活に生かそうとする態度を養う。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用	知識・理解
・地震を身近なものとして捉え、防災のあり方、自分の生き方を考えようとしている。	・「稲むらの火」を読んで、地震に立ち向かった人々の思いを考えている。 ・防災について実際にどのような準備や備えが必要であるか考えている。	・学校で作成したポスターや聞き書き集を使って、地震に対する備えを考え、まとめている。	・南海地震について歴史的な背景を理解している。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1	<ul style="list-style-type: none"> ○伝言ダイヤル、防災グッズについて考える。 ○南海地震について考える。 ○「稲むらの火」について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クイズ形式にすることで興味をもたせる。 ○実際に防災グッズを見せることにより、意識を高める。 ○図書館の防災関連の本を紹介する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○学校作成のポスター「地震に注意」を使って考える。 ○「稲むらの火」のビデオ（ワークシート）を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校で作成したポスターを使って、クイズ形式で地震の際の注意点を確認させる。 ○「稲むらの火」のあらすじを紹介し、ワークシートを使って人々の思いを考えさせる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○学校で作成した「昭和南海大地震聞き書き集」を使って考える。 ○「稲むらの火」と潮江地区を比べて津波について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方の体験談を聞き取り、まとめたものを読み当時の様子を想像させる。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [1 / 3 時間目]

- ・地震についての意識を高め、歴史的な背景について理解する。
- ・3月11日の東日本大震災、そして大津波と身近なところで大きな災害が起こったことを自分たちと重ねて考える。

(2) 本時の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・地震や災害を身近なこととして捉え、自分自身と重ねて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安政南海地震に遭遇した人々の行動から、彼らの思いを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南海地震について歴史的背景を理解している。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	学習目標の提示 1 災害用伝言ダイヤルについて知る。 クイズ形式で正しい番号を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が参加できるように注意する。 ・伝言ダイヤルの役割について理解させる。
展 開	2 防災グッズを見て、必要な物を選ぶ。 班で話し合い、ワークシートに記入する。 3 南海地震について考える。 「安政南海地震」や「昭和南海地震」を比較し、データを見ながら次に来る「南海地震」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守るための観点で防災グッズを選ばせる。 ・自分の命は自分で守ることを意識させる。

終 末	4 「稲むらの火」	<ul style="list-style-type: none"> ・「稲むらの火」の本を見せ、概要をつかませる。また、防災に関する本を見せ、地震について考えさせる。
--------	-----------	---

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 絵本を用いたことにより、歴史的背景などが生徒にとって理解しやすかった。
- 防災グッズなど実物を用いた授業展開により、防災についての意識付けができた。
紹介した防災関連の本にも興味を示した生徒が多くいた。
- 図書館資料を活用するためには、図書館担当との事前の打ち合わせを充分に行う必要がある。
- 今後生徒が自ら興味をもって図書館を利用できるよう、様々な資料や情報の提供が必要である。

8 指導上参考となる図書資料及びその他の資料

- ★『TSUNAMIをこえて スマトラ沖地震とアチェの人びと』 (ポプラ社)
 - ★『地球たんけんたい④ 地震だ!』 (リブリオ出版)
 - ★『津波から人びとを救った稲むらの火』 (文溪堂)
 - ★『ぼくの街に地震がきた』 (ポプラ社)
 - ★『ズッコケ驚異の大震災』 (ポプラ社)
 - ★『恐ろしい自然現象 地震の大研究 起こるしくみからそなえまで』 (PHP研究所)
 - ★『津波は怖い! みんなで知ろう! 津波の怖さ』 (丸善プラネット株式会社)
 - ★『じしんのえほん こんなときどうするの?』 (ポプラ社)
 - 『津波から生き残るーその時までに知ってほしいこと』 (土木学会)
 - 『イザのとき役立つ 震災ハンドブック』 (中経出版)
 - 『地震イツモノート』 (ポプラ社)
 - 『ドラえもん 地震はなぜ起こる どう身を守る』 (小学館)
 - 『人はなぜ逃げおくれるのかー災害の心理学』 (集英社)
 - 『津波てんでんこー近代日本の津波史』 (新日本出版社)
 - 『津波からみんなをすくえ!ーほんとうにあった「稲むらの火」 浜口梧陵さんのお話』 (文溪堂)
 - 『津波とたたかった人ー浜口梧陵伝』 (新日本出版社)
 - 『東日本大震災の教訓ー津波から助かった人の話』 (古今書院)
 - 『地震 停電 放射能 みんなで生き抜く防災術』 (小学館)
 - 『とっさの「防災」ガイド 地震、火事、台風、事故から身を守る』 (PHP研究所)
 - 『親子のための地震安全マニュアル』 (日本出版社)
 - 『津波!!命を救った稲むらの火』 (汐文社)
 - 『津波!!稲むらの火その後』 (汐文社)
 - 『尋常小学校国語教科書』 (旧国定教科書)
- ※★印は「きっとある キミの心に ひびく本 (小学生版)」に掲載しています。

稲むらの火

年 組 名前 ()

地震が起きた時の非常持ち出し品として、あなたはどれを選びますか？

下のア～ハの中から選びましょう。

選んだもの	理由
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

ア 食料 イ 水 ウ ラジオ付きライト エ 救急セット オ サランラップ
 カ 食器 キ 携帯トイレ ク タオル ケ トイレットペーパー コ ゲーム
 サ ヘルメット シ マンガ ス カップ セ 軍手 ソ 運動ぐつ
 タ ガムテープ チ 湯沸かし器 ツ 毛布 テ 服 ト 洗面用具
 ナ 薬 ニ 予備の電池 ニュ 現金(小銭) ネ 携帯電話 ノ 保健証
 ハ ウォークマン

「稲むらの火」ワークシート () 組 名前 ()

<p>① いつ？</p> <p>② どこで？</p> <p>③ 誰が？</p> <p>④ 何をした？</p>	
<p>① 津波が来ることをどのように村人に伝えましたか。</p> <p>② 儀兵衛はどんな思いで稲穂に火をつけましたか？</p> <p>③ よその村に移ると行ってきた村人を前にして儀兵衛はどう説得しましたか？</p> <p>④ 儀兵衛が大金をかけて堤防をつくったのはどんな思いからですか？</p>	

第3学年 理科 学校図書館活用実践事例

指導者 刈谷 絹枝 (T1) 田中 敬子 (T2) (南国市立香長中学校)

～学校図書館活用の視点～

遺伝子・DNA・細胞の扱いは現在、科学の枠を越えて社会と結びつき、更には人権、倫理、宗教などとも深く関わるようになってきている。未来を見つめ、それを自ら切りひらいていく力を育てるために、図書館教育と連携し、これらに関する先端技術や研究について自分でテーマ設定して調べさせ、本単元の学習のまとめとしてレポート化するように考えた。同時に先端技術や研究の歴史や成果だけでなく、抱えている課題に目を向けることで「分きたい」「考えなければならぬ」という関心・意欲の喚起を目指したい。

1 単元(題材)名 「細胞と生物の殖え方」

2 単元について

「理科離れ」という言葉が使われはじめて久しいが、今もその状態は続いていると感じられる。特に現代の科学技術は専門性の高いものが多く、一般の人々にはまるでブラックボックスようになっており、そのことが「理科は難しい」「理科は苦手」という意識に拍車をかけている。しかし、その専門性の高い科学技術がわたしたちの生活に大きく影響を与えている以上、「難しい」「苦手」という気持ちで技術について理解したり考えたりすることを避けるのは、これも昨今よく聞く「危機管理」という面からも望ましくない。

この単元では生命の根本について学習する。生命はどのようにつながっているのか、どこから来てどこへ行くのか、そのような生命の不思議な仕組みを知ることで、一人一人がしっかりとした生命倫理感をもつようにしたい。また、生命に関する研究では今も驚くべき発見が日々もたらされている。それに基づいたさまざまな技術も日進月歩で開発されている。本単元で学習した生命の仕組みに関する基礎知識が今の先端技術や研究に結びついていることにも気付かせたい。

3 単元の目標

- (1) 体細胞分裂の観察を行い、その過程を確かめるとともに、細胞の分裂を生物の成長と関連付けて捉える。
- (2) 身近な生物の殖え方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見出す。
- (3) 細胞や遺伝子・DNAについて、最新の技術や研究にはどんなものがあるか興味をもち、図書資料を用いて調べる。
- (4) 最新の技術や研究の成果と課題について理解し、様々な生命に対してこれから自分はどうあるべきなのかを考える。

4 単元の評価規準

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解
・細胞の変化と体の成長の関係について興味をもち、調べてみようとする。	・目的意識をもって観察し、結果を分析して、細胞分裂が根の先端付近で多く見られること	・顕微鏡を使って細胞分裂の様子を観察し、結果の記録や整理の仕方を身に付けている。	・生物の体は、細胞からできていることや、動物と植物の細胞のつくりと特徴などに

	<p>に気付き、自らの考えを表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物と動物の細胞のつくりを観察し、特徴などについて、自らの考えを導き、表現している。 		<p>について基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 生物が仲間を殖やす仕組みについて興味をもち、調べようとする。 遺伝によって親から子、子から孫に形質が伝わっていくことに興味・関心をもち、遺伝の規則性を意欲的に調べようとする。 遺伝子の本体であるDNAに興味・関心をもち、発見の歴史や特徴などを調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識をもって、資料やデータの分析を行い、生物の殖え方の特徴について、自らの考えを表現している。 資料やデータなどから親の形質が子に伝わる時の規則性について、自らの考えを表現している。 DNAや遺伝子について、資料を使って調べ、レポートにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材に示された、実験例などから、生物の殖え方や遺伝の仕組みの観察の仕方や記録の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の殖え方の特徴について基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 遺伝の仕組みの基本的な概念を身に付け、有性生殖と無性生殖の違いや優性の形質・劣性の形質や分離の法則を理解し、知識を身に付けている。 遺伝子の本体はDNAという物質であることを理解している。

5 単元の概要

時	学 習 内 容	指 導 の 工 夫
1 } 6	○細胞のつくりと体の成長	○細胞は自身のコピーをつくりその数を殖やしていることを見出させるために、体細胞分裂している細胞で染色体の変化の様子を観察させる。
7 } 10	○生物の殖え方の特徴を調べてみよう	○関心をもたせるために、身のまわりで見られたり利用されたりしている無性生殖の例を、写真や動画で複数紹介する。
11 } 12	○親の特徴はどのように子に伝えられるか	○遺伝についての理解を深めるために、遺伝形質とそれ以外の特徴の例をそれぞれ見付け出させる。
13	○有性生殖と無性生殖の違いは何か	○有性生殖、無性生殖それぞれのもつ利点を、生殖の特徴と遺伝の仕組みから見出させる。
14 } 18	○遺伝の規則性を調べてみよう	○メンデルが実際に行った実験の結果を踏まえて、減数分裂の仕組みと遺伝子の考え方から形質の現れる規則性に気付かせる。
19 } 23	○遺伝子の本体は何か	○遺伝子やDNAについての最新トピックに興味・関心をもたせ、またその内容を正しく理解するために図書資料を用いて調べ学習を行う。

6 授業の展開

(1) 本時の目標 [20/23時間目]

- ・選んだ最新技術や研究の領域から、図書資料を使って調べるテーマを決める。
- ・決めたテーマについて目的に沿った調べができるように、レポートの項目を工夫する。

(2) 本時の評価規準

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現
・遺伝子の本体であるDNAに興味・関心を持ち、課題を見付けようとする。	・DNAや遺伝子に関する課題を調べるためのおおまかな項目を立てている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (学校図書館や図書資料の活用等)
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 本時までにはグループごとに、最新技術・研究6領域のうち、どの領域で調べるかを決めておく。 </div> 1 前時までの学習内容（遺伝子やDNAに関する最新技術・研究と調べる領域）を確認する。	○各班のテーマを黒板に提示する。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 調べたいテーマを決めて項目を考えよう </div>	
展 開	2 決めてあった領域内で何をテーマに調べをすすめるか、図書を利用しグループで相談して決める。	○図書リストを示し、本の題名から調べたいことが出ているか検討させたり、実際の図書を手に取らせて必要な図書を選ばせたりし、各グループに2冊行きわたるように準備する。
	3 技術や研究の内容・変遷や成果、課題などの項目立てや、誰が中心となって調べるかなど今後の調べの計画の基本をつくる。	○必要に応じてテーマ決定のための助言をする。
終 末	4 進捗状況と次時の活動を確認する。	○次時の活動や準備について指示をする。

7 成果と課題改善について（○は成果、●は課題）

- 教科書の内容に留まることなく、生徒の興味・関心を日常生活や最新トピックとつなげて広げることができた。
- 教科書では詳しく説明されていないところを、図書資料を使って詳しく調べ、レポートの形式を学びながらまとめることができた。
- 専門的で意味の分からない語句の解説を探すのに時間がかかった。中には調べきれなかった語句もある。用語辞典のようなものも用意できればよかった。
- ES細胞についての記述は多く見つけることができるが、iPS細胞については、ごく最近のトピックなので、あまり本がなく、多くの文章に触れることは難しかった。どんどん新しい研究が新聞で発表され、興味をかきたてることのできる分野であるので、もっと新聞記事を紹介すればよかった。

平成23年度学校図書館活動推進校一覧

室戸市立室戸小学校
安芸市立安芸第一小学校
香南市立赤岡小学校
香美市立山田小学校
南国市立後免野田小学校
土佐町立土佐町小学校
いの町立伊野南小学校
土佐市立高岡第一小学校
須崎市立多ノ郷小学校
宿毛市立宿毛小学校
高知市立追手前小学校
高知市立横内小学校
香南市立赤岡中学校
南国市立香長中学校
いの町立伊野中学校
佐川町立佐川中学校
黒潮町立大方中学校
土佐清水市立清水中学校
高知市立城東中学校
高知市立潮江中学校

高知県学校図書館活用実践事例集

平成24年3月

発行 高知県教育委員会
編集 高知県教育委員会事務局小中学校課
TEL (088) 821-4638
FAX (088) 821-4926
URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>

